

対象校No.

注4

学校コード F118210105602

注3

設置年度

令和

7年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

注2

福井県立大学

恐竜学部

恐竜・地質学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

公立大学法人福井県立大学
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 勝山キャンパス開設準備室

職名・氏名 フチウ カイドウ
部長・海道 ひかり

電話番号 0776-61-6000

(夜間) 0776-61-6000 (内線: 1350)

e-mail shingakubu@fpu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合: 「〇〇大学」

・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

恐竜学部

＜恐竜・地質学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教育研究実施組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人福井県立大学

(2) 大 学 名 福井県立大学

(3) 調査対象大学等の位置

- ・永平寺キャンパス
〒910-1195
福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1
- ・勝山キャンパス
〒911-0025
福井県勝山市村岡町五本寺17-15

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(クボタ ヒロユキ) 窪田 裕行 令和4年4月		
学 長	(イワサキ ユキモト) 岩崎 行玄 令和4年4月		
学 部 長	(ニシ ヒロシ) 西 弘嗣 令和7年4月		
学科長等			

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称（学位）	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
恐竜学部 恐竜・地質学科 学士（理学）	理学関係	4 年	30 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	120 人	—	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	人 (-) [-]	30人 30 (-) [-]	人 (-) [-]	-	1.13倍	-		
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	264 (-) [-]	(-) [-]					春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	157 (-) [-]	(-) [-]					
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	34 (-) [-]	(-) [-]					
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	34 (-) [-]	(-) [-]					
入学定員超過率 B / A	-		-		-		-		-		1.13						

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（（ ））書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	34 [—] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	34 [—] (—)	— [—] (—)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	34 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{34} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<恐竜学部 恐竜・地質学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置						基 幹 教 員 等 の 配 置 (助 手 を 除 く)
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
一 般 教 育 科 目	Ⅰ 英語	英語A	1前		2								4	
		英語B	1前		2								5	
		英語C	1後		2								4	
		英語D	1後		2								5	
		小計(4科目)	—	—	8								5	
	Ⅱ 情報	ICTリテラシー	1前・後			2								3
		データサイエンス基礎	1前・後			2								3
		情報科学	1後			2								2
		小計(3科目)	—	—	4	2								4
	Ⅲ キャリア	キャリア形成論	1前			2								1
		小計(1科目)	—	—		2								1
	Ⅱ 英語	英語発展ⅠA	1前			2								5
		英語発展ⅠB	1後			2								5
		英語発展ⅡA	1前			2								5
		英語発展ⅡB	1後			2								5
		英語発展ⅢA	1前			2								5
		英語発展ⅢB	1後			2								5
		英語発展ⅣA	1前			2								5
		英語発展ⅣB	1後			2								5
		英語発展ⅤA	1前			2								5
		英語発展ⅤB	1後			2								5
		英語発展ⅥA	1前			2								5
		英語発展ⅥB	1後			2								5
		小計(12科目)	—	—	24								5	
	Ⅲ 情報	データサイエンス応用	1後			2								1
		プログラミング基礎	1前			2								1
		プログラミング応用	1後			2								1
		メディア情報リテラシー	1後			2								1
		情報処理演習(AI)	1後			2								1
		情報処理演習(CG)	1前			2								1
		情報処理演習(Web開発)	1前			2								1
		情報活用プロジェクト演習	1前			2								1
		情報技術者(国家試験Ⅰ)	1前			2								1
		情報技術者(国家試験Ⅱ)	1後			2								1
		情報技術者(民間資格)	1後			2								1
		小計(11科目)	—	—	22								3	
	Ⅳ 人文科学	哲学	1前・後			2								1
		倫理学	1前・後			2								1
		西洋思想	1前・後			2								1
		東洋思想	1前・後			2								1
		東洋史	1前・後			2								1
		東洋の世界	1前・後			2								1
		宗教学	1前			2								1
		西洋史	1前・後			2								1
		神話学	1前・後			2								1
		歴史学	1前・後			2								1
		言語学	1後			2								1
		心理学	1前・後			2								1
		臨床心理学概論	1後			2								1
		社会学	1前・後			2								1
ジェンダー論		1前・後			2								1	
現代家族論		1前・後			2								1	
地理学		1後			2								1	
地誌学		1前			2								1	
言語文化(中国)A		1前			2								1	
言語文化(中国)B		1後			2								1	
言語文化(韓国朝鮮)A		1前			2								1	
言語文化(韓国朝鮮)B		1後			2								1	
東アジアの文化と社会		1後			2								1	
	小計(23科目)	—	—	46									12	

【令和7年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置						基 幹 教 員 等 の 配 置 (助 手 を 除 く)
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
一般 教育 科 目	Ⅰ 英語	英語A	1前		2								1	
		英語B	1前		2								1	
		英語C	1後		2								1	
		英語D	1後		2								1	
		小計(4科目)	—	—	8								4	
	Ⅱ 情報	ICTリテラシー	1前・後			2								3
		データサイエンス基礎	1前・後			2								2
		情報科学	1後			2								1
		小計(3科目)	—	—	4	2								6
	Ⅲ キャリア	キャリア形成論	1前			2								1
		小計(1科目)	—	—		2								1
	Ⅱ 英語	英語発展ⅠA	1前			2								2
		英語発展ⅠB	1後			2								2
		英語発展ⅡA	1前			2								4
		英語発展ⅡB	1後			2								3
		英語発展ⅢA	1前			2								3
		英語発展ⅢB	1後			2								4
		英語発展ⅣA(未開講)	1前			2								2
		英語発展ⅣB	1後			2								2
		英語発展ⅤA(未開講)	1前			2								3
		英語発展ⅤB	1後			2								2
		英語発展ⅥA(未開講)	1前			2								3
		英語発展ⅥB	1後			2								3
		海外英語研修A(未開講)	1前			2								1
		海外英語研修B	1後			2								1
	小計(14科目)	—	—		28								17	
	Ⅲ 情報	データサイエンス応用	1後			2								1
		プログラミング基礎(未開講)	1前			2								1
		プログラミング応用	1後			2								1
		メディア情報リテラシー	1後			2								1
		情報処理演習(AI)	1後			2								1
		情報処理演習(CG)(未開講)	1前			2								1
		情報処理演習(Web開発)	1前			2								1
		情報活用プロジェクト演習(未開講)	1前			2								1
		情報技術者(国家試験Ⅰ)	1前			2								1
		情報技術者(国家試験Ⅱ)	1後			2								1
		情報技術者(民間資格)	1後			2								1
	小計(11科目)	—	—		22								5	
	Ⅳ 人 文 科 学	哲学(未開講)	1前・後			2								1
		倫理学	1前・後			2								1
		西洋思想(未開講)	1前・後			2								1
		東洋思想(未開講)	1前・後			2								1
		東洋史	1前・後			2								1
		東洋の世界(未開講)	1前・後			2								1
宗教学(未開講)		1前			2								1	
西洋史(未開講)		1前・後			2								1	
神話学(未開講)		1後											1	
歴史学(未開講)		1前・後			2								1	
言語学		1後			2								1	
心理学(未開講)		1前・後			2								1	
臨床心理学概論		1後			2								1	
社会学(未開講)		1前・後			2								1	
ジェンダー論(未開講)		1前・後			2								1	
現代家族論(未開講)		1前・後			2								1	
地理学		1後			2								1	
地誌学(未開講)		1前			2								1	
言語文化(中国)A		1前			2								1	
言語文化(中国)B		1後			2								1	
言語文化(韓国朝鮮)A		1前			2								1	
言語文化(韓国朝鮮)B		1後			2								1	
東アジアの文化と社会	1後			2								1		
小計(22科目)	—	—		44									13	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 等 の 配 置 (助 手 を 除 く)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
V 社会科学	政治学	1後			2							1
	経済学	1前			2							1
	経営学	1前			2							1
	法学	1前・後			2							1
	日本国憲法	1前・後			2							1
	国際社会と法	1前・後			2							1
	現代人権論	1後			2							1
	小計(7科目)	—	—		14							4
VI 健康科学	体育実技Ⅰ	1前・後			1							1
	体育実技Ⅱ	1前・後			1							1
	体育実技Ⅲ	1前			1							1
	スポーツ科学	1前			2							1
	運動処方論	1後			2							1
	小計(5科目)	—	—		7							1
VII 自然科学	解析学	1後			2							1
	代数学	1前			2							1
	統計学基礎	1後			2							1
	数学基礎	1前・後			2							1
	物理学Ⅰ	1前			2							1
	物理学Ⅱ	1後			2							1
	脊椎動物の進化	1前			2		1	1				
	地球史入門	1前			2		1					
	地球環境学概論	1後			2		2					
	バイオサイエンス基礎	1後			2							1
	小計(10科目)	—	—		20		3	1				3
VIII 地域	福井を学ぶ	1前			2							1
	海と暮らし	1後			2							1
	恐竜学	1前			2		1	1				
	暮らしを支える生物資源	1前			2							1
	水産増養殖学概論	1前			2							1
	小計(5科目)	—	—		10		1	1				4
IX 第2外国語	中国語A	1前			4							1
	中国語B	1後			4							1
	中国語C	1前			2							1
	中国語D	1後			2							1
	韓国朝鮮語A	1前			4							1
	韓国朝鮮語B	1後			4							1
	小計(6科目)	—	—		20							2
	導入ゼミナール	1前			2							6
X 導入教育	教養ゼミナール	1後			2							6
	小計(2科目)	—	—		4							6
教職課程の設置により開設する科目	教育原理	1・2・3後			2							1
	教育史	1・2・3・4後			2							1
	教師論	1・2・3前			2							1
	教育制度論	1・2・3・4前			2							1
	教育社会学	1・2・3・4前			2							1
	教育心理学	1・2・3前			2							1
	発達心理学	1・2・3・4後			2							1
	特別支援教育	1・2・3・4後			2							1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	1・2・3・4前			2							1
	教育方法論(情報通信技術の活用含む)	1・2・3・4前			2							1
	生徒・進路指導論	1・2・3・4後			2							3
	教育相談	1・2・3・4後			2							1
	教育実習	4前			3							1
	教職実践演習	4後			2							2
	道徳教育の理論と実践	1・2・3後			2							1
	理科教育法Ⅰ	1・2・3前			2							2
	理科教育法Ⅱ	1・2・3・4後			2							2
	学校インターンシップA	1前			1							1
	学校インターンシップB	1後			1							1
	化学Ⅰ	1前			2							1
	生物学Ⅰ	1前			2							1
	小計(21科目)	—	—		41							14

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 等 の 配 置 (助 手 を 除 く)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
V 社会科学	政治学	1後			2							1
	経済学(未開講)	1前			2							3
	経営学	1前			2							1
	法学	1前・後			2							1
	日本国憲法(未開講)	1前・後			2							1
	国際社会と法	1前・後			2							1
	現代人権論	1後			2							1
	小計(7科目)	—	—		14							6
VI 健康科学	体育実技Ⅰ	1前・後			1							7
	体育実技Ⅱ	1前・後			1							7
	体育実技Ⅲ(未開講)	1前			1							1
	スポーツ科学(未開講)	1前			2							1
	運動処方論	1後			2							1
	小計(5科目)	—	—		7							7
VII 自然科学	解析学	1後			2							1
	代数学(未開講)	1前			2							1
	統計学基礎	1後			2							1
	数学基礎(未開講)	1前・後			2							1
	物理学Ⅰ	1前			2							1
	物理学Ⅱ	1後			2							1
	脊椎動物の進化	1前			2		1	1				
	地球史入門	1前			2		1					
	地球環境学概論	1後			2		2					
	バイオサイエンス基礎	1後			2							1
	小計(10科目)	—	—		20		3	1				3
VIII 地域	福井を学ぶ	1前			2							1
	海と暮らし(未開講)	1後			2							1
	恐竜学	1前			2		1	1				
	暮らしを支える生物資源(未開講)	1前			2							1
	水産増養殖学概論	1前			2							1
	小計(5科目)	—	—		10		1	1				4
IX 第2外国語	日本語A(未開講)	1前			2							1
	日本語B(未開講)	1前			2							1
	中国語A	1前			4							3
	中国語B	1後			4							2
	中国語C(未開講)	1前			2							1
	中国語D	1後			2							1
	韓国朝鮮語A(未開講)	1前			4							1
	韓国朝鮮語B	1後			4							1
	小計(8科目)	—	—		24							6
X 導入教育	導入ゼミナール(未開講)	1前			2							2
	教養ゼミナール	1後			2							3
	小計(2科目)	—	—		4							3
教職課程の設置により開設する科目	教育原理・教育課程論(未開講)	1・2・3後			2							1
	教育史	1・2・3・4後			2							1
	教師論	1・2・3前			2							1
	教育制度論(未開講)	1・2・3・4前			2							1
	教育社会学	1・2・3・4前			2							1
	教育心理学	1・2・3前			2							1
	発達心理学	1・2・3・4後			2							1
	特別支援教育	1・2・3・4後			2							1
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(未開講)	1・2・3・4前			2							1
	教育方法論(情報通信技術の活用含む)	1・2・3・4前			2							1
	生徒・進路指導論	1・2・3・4後			2							3
	教育相談	1・2・3・4後			2							1
	教育実習	4前			3							1
	教職実践演習	4後			2							2
	道徳教育の理論と実践	1・2・3後			2							1
	理科教育法Ⅰ	1・2・3前			2							2
	理科教育法Ⅱ	1・2・3・4後			2							2
	学校インターンシップA(学校外実習) (未開講)	1前			1							1
	学校インターンシップB(学校外実習) (未開講)	1後			1							1
	化学Ⅰ(未開講)	1前			2							1
	生物学Ⅰ(未開講)	1前			2							1
	小計(21科目)	—	—		41							14

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門基礎科目	地球科学フィールド実習Ⅰ	1前	○	2			2	2				
	生物学序論	1前	○	2			2					
	地学概論	1前	○	2			1	1				
	古生物学概論	1後	○	2			2					
	地層学	1後	○	2			2					
	海洋生物学	1後	○	2			1					
	植物生態学	2前	○	2			1					
	地球年代学	2後	○	2			2					
	科学英語	2前	○	2			2	1				
	進化生物学	2前	○	2			2	1				
	地球化学序論	2前	○	2			3	1		1		
	古生物学Ⅰ(脊椎動物)	2前	○	2			1	2				3
	日本列島形成史	2前	○	2			2					
	地質調査法実習Ⅰ	2前	○	2			2	1				
	地質図学演習	2前	○	2			2	1				
	地球科学フィールド実習Ⅱ	2前	○	2			2	1				
	古生物学実習Ⅰ	2前	○	2			1	2		1		
	地球科学基礎実験	2前	○	1			2	1				
	古生物学実験	2後	○	2			2					
	デジタル古生物学概論	2後	○	2			2	1				
	デジタル古生物学研究法実習	2後	○	2			2	1				
	地球環境変動学	2後	○	2			1					
	地球化学	2後	○	2				1		1		1
	海洋底地球科学	2後	○	2			1					
	地球科学フィールド研究	3前	○	4			10	5		3		
	卒業演習Ⅰ	4前	○	2			12	5		3		
	卒業演習Ⅱ	4後	○	2			12	5		3		
	卒業研究	4通	○	8			12	5		3		
	小計(28科目)	—	—	63	0	0	12	5	0	3	0	4
専門教育科目	古生物地理学	3前			2		2			1		
	古生物データサイエンス学	3前			2		2					
	古生物多様性学	3前			2		1					
	古生物学実習Ⅱ	3前			2		2					
	古生物学Ⅱ(微古生物)	3後			2		2			1		
	古生物学課題演習	3後			2		6	3		2		
	小計(6科目)	—	—	0	12	0	7	3	0	2	0	0
	地質調査法実習Ⅱ	3前			2		1	2		1		
	地球化学実験	3前			2		1	1		1		
	海洋地球科学実習	3前			2		3			1		
専門応用科目	災害・防災学Ⅰ	3後			2		2					2
	災害・防災学Ⅱ	4前			2		2					1
	地質学課題演習	3後			2		6	2		1		
	小計(6科目)	—	—	0	12	0	6	3	0	2	0	3
	岩石・鉱物学	2前			2							1
	恐竜発掘実習	3後			2		1	1				
	地球物理学	2後			2							1
	恐竜学特論	2後			2		1	1				3
	ジオパーク学	2前			2							2
	コンピュータグラフィック概論	3前			2		1	2		1		
学芸員課程科目	古植物学	3後			2		1	1				2
	古生物学Ⅲ(無脊椎動物)	3後			2		2			1		3
	応用地質学	3後			2			1				2
	GIS・リモートセンシング学	3後			2							1
	小計(10科目)	—	—	0	20	0	5	5	0	2	0	15
	博物館概論	2前			2							2
	博物館経営論	2前			2							3
	博物館教育論	2前			2							1
	博物館展示論	2後			2		1	1				1
	博物館情報・メディア論	2後			2			1				1
学芸員課程科目	博物館資料論	3前			2			1				1
	博物館資料保存論	3前			2			1				1
	生涯学習概論	3後			2							1
	博物館実習	4後			3		2	2				
	小計(9科目)	—	—				2	3	0	0	0	9
合計(169科目)		—	—	75	234	41	12	5		3		72

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 以 外 の 教 員 (助 手 を 除 く)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門基礎科目	地球科学フィールド実習Ⅰ	1前	○	2			2	2				
	生物学序論	1前	○	2			2					
	地学概論	1前	○	2			1	1				
	古生物学概論	1後	○	2			2					
	地層学	1後	○	2			2					
	海洋生物学	1後	○	2			1					
	植物生態学	2前	○	2			1					
	地球年代学	2後	○	2			2					
	科学英語	2前	○	2			2	1				
	進化生物学	2前	○	2			2	1				
	地球化学序論	2前	○	2			3	1		1		
	古生物学Ⅰ(脊椎動物)	2前	○	2			1	2				3
	日本列島形成史	2前	○	2			2					
	地質調査法実習Ⅰ	2前	○	2			2	1				
	地質図学演習	2前	○	2			2	1				
	地球科学フィールド実習Ⅱ	2前	○	2			2	1				
	古生物学実習Ⅰ	2前	○	2			1	2		1		
	地球科学基礎実験	2前	○	1			2	1				
	古生物学実験	2後	○	2			2					
	デジタル古生物学概論	2後	○	2			2	1				
	デジタル古生物学研究法実習	2後	○	2			2	1				
	地球環境変動学	2後	○	2			1					
	地球化学	2後	○	2				1		1		1
	海洋底地球科学	2後	○	2			1					
	地球科学フィールド研究	3前	○	4			10	5		3		
	卒業演習Ⅰ	4前	○	2			12	5		3		
	卒業演習Ⅱ	4後	○	2			12	5		3		
	卒業研究	4通	○	8			12	5		3		
	小計(28科目)	—	—	63	0	0	12	5	0	3	0	4
専門教育科目	古生物地理学	3前			2		2					
	古生物データサイエンス学	3前			2		2					
	古生物多様性学	3前			2		1					
	古生物学実習Ⅱ	3前			2		2					
	古生物学Ⅱ(微古生物)	3後			2		2			1		
	古生物学課題演習	3後			2		6	3		2		
	小計(6科目)	—	—	0	12	0	7	3	0	2	0	0
	地質調査法実習Ⅱ	3前			2		1	2		1		
	地球化学実験	3前			2		1	1		1		
	海洋地球科学実習	3前			2		3			1		
専門応用科目	災害・防災学Ⅰ	3後			2		2					2
	災害・防災学Ⅱ	4前			2		2					1
	地質学課題演習	3後			2		6	2		1		
	小計(6科目)	—	—	0	12	0	6	3	0	2	0	3
	岩石・鉱物学	2前			2							1
	恐竜発掘実習	3後			2		1	1				
	地球物理学	2後			2							1
	恐竜学特論	2後			2		1	1				3
	ジオパーク学	2前			2							2
	コンピュータグラフィック概論	3前			2		1	2		1		
学芸員課程科目	古植物学	3後			2		1	1				2
	古生物学Ⅲ(無脊椎動物)	3後			2		2			1		3
	応用地質学	3後			2			1				2
	GIS・リモートセンシング学	3後			2							1
	小計(10科目)	—	—	0	20	0	5	5	0	2	0	15
	博物館概論	2前			2							2
	博物館経営論	2前			2							3
	博物館教育論	2前			2							1
	博物館展示論	2後			2		1	1				1
	博物館情報・メディア論	2後			2			1				1
学芸員課程科目	博物館資料論	3前			2			1				1
	博物館資料保存論	3前			2			1				1
	生涯学習概論	3後			2							1
	博物館実習	4後			3		2	2				
	小計(9科目)	—	—				2	3	0	0	0	9
合計(172科目)		—	—	75	240	41	12	5		3		78

卒業要件及び履修方法
【卒業要件・履修方法】以下に掲げる基準を満たし、合計124単位以上修得すること。 <一般教育科目>以下の基準を満たした上で、合計28単位以上修得すること。 ・必修科目:12単位修得すること。 ・選択必修科目:Ⅳ群・Ⅴ群から10単位(主に文系科目)、Ⅶ群から6単位以上(主に理系科目)修得すること。 <専門教育科目> ・専門基礎科目:63単位修得すること。 ・専門応用科目: ▶ 恐竜・古生物コースの場合、恐竜・古生物コース必修科目12単位および両コース選択必修科目12単位を含めた合計24単位以上修得すること。 ▶ 地質・古環境コースの場合、地質・古環境コース必修科目12単位および両コース選択必修科目12単位を含めた合計24単位以上修得すること。 <一般教育科目、専門教育科目を問わず> ▶ 恐竜・古生物コースの場合、9単位以上修得すること。 ▶ 地質・古環境コースの場合、9単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限49単位(年間))

卒業要件及び履修方法
【卒業要件・履修方法】以下に掲げる基準を満たし、合計124単位以上修得すること。 <一般教育科目>以下の基準を満たした上で、合計28単位以上修得すること。 ・必修科目:12単位修得すること。 ・選択必修科目:Ⅳ群・Ⅴ群から10単位(主に文系科目)、Ⅶ群から6単位以上(主に理系科目)修得すること。 <専門教育科目> ・専門基礎科目:63単位修得すること。 ・専門応用科目: ▶ 恐竜・古生物コースの場合、恐竜・古生物コース必修科目12単位および両コース選択必修科目12単位を含めた合計24単位以上修得すること。 ▶ 地質・古環境コースの場合、地質・古環境コース必修科目12単位および両コース選択必修科目12単位を含めた合計24単位以上修得すること。 <一般教育科目、専門教育科目を問わず> ▶ 恐竜・古生物コースの場合、9単位以上修得すること。 ▶ 地質・古環境コースの場合、9単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限49単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
 - その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。
 - (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例: 記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・文部科学省教職課程審査の指摘により、「教育原理」の名称を「教育原理・教育課程論」に変更。
- ・文部科学省教職課程審査の指摘により、「学校インターンシップA」の名称を「学校インターンシップA（学校体験活動）」に変更。
- ・文部科学省教職課程審査の指摘により、「学校インターンシップB」の名称を「学校インターンシップB（学校体験活動）」に変更。
- ・主に留学生を対象とした日本語学修機会を確保するため、「日本語A」を追加。
- ・主に留学生を対象とした日本語学修機会を確保するため、「日本語B」を追加。
- ・海外での英語研修の充実を図るために、「海外英語研修A」を追加。
- ・海外での英語研修の充実を図るために、「海外英語研修B」を追加。
- ・授業運営上の理由により、「英語A」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語B」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語C」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語D」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「データサイエンス基礎」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「情報科学」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語発展IA」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語発展IB」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語発展IIA」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語発展IIB」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語発展IIIA」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語発展IIIB」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語発展IVA」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語発展IVB」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語発展VA」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語発展VB」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語発展VIA」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「英語発展VIB」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「経済学」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「体育実技I」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「体育実技II」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「中国語A」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「中国語B」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「導入ゼミナール」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・授業運営上の理由により、「教養ゼミナール」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員3」に変更。

- (注)・2(1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
34 科目	114 科目	21 科目	169 科目	34 科目 [0]	117 科目 [+3]	21 科目 [0]	172 科目 [+3]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1 科目減の場合：△ 1）
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	神話学	2	1前・後	一般	選択	カリキュラムの見直しのため
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生に配布する便覧や履修ガイダンスにおいて学生へ周知を行った。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{1}{169} = \boxed{0.59} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積： 7,567.39㎡ 借用期間：60年			
	校 舎 敷 地	91,040.22㎡	㎡	㎡	91,040.22㎡				
	そ の 他	389,919.45㎡	㎡	㎡	389,919.45㎡				
	合 計	480,959.67㎡	㎡	㎡	480,959.67㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		51,565.63㎡ (47,381.91㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	51,565.63㎡ (47,381.91㎡)				
(3)教室・教員研究室		教 室	179室	教員研究室	20室	大学全体			
(4)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	蔵書見直しのため (7)	
		恐竜学部 恐竜・地質学科	417,796 [75,212] (414,598 [70,034]) (416,546 [74,837])	132 [88] (0 [0])	6,094 [4,830] (10,334 [6,373]) (5,834 [4,590])	4,707 [4,706] (5,231 [5,231]) (4,467 [4,466])	10 (10)		- (-)
	計	417,796 [75,212] ([])	132 [88] ([])	6,094 [4,830] ([])	4,707 [4,706] ([])	10 ()	- ()		
(5)スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体	
		14,300㎡		918㎡		7,059.47㎡			
(6)経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	学内予算見直しのため (7)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	833千円 1,023千円	833千円 1,023千円	図書購入費	1,123千円 10,698千円	2,233千円 1,123千円	8,932千円 4,490千円	
		共 同 研 究 費 等	938千円	1,340千円	設備購入費	13,689千円 15,987千円	803,443千円 818,591千円	24,897千円 34,089千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	図書購入費には、電子 ジャーナル、データ ベースの整備費（運営 コストを含む。）を含 む。	
		県内 724千円 県外 818千円	536千円	536千円	536千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			福井県からの運営費交付金、雑収入					

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。

（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び

「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）

・「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、

その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	福井県立大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
経済学部	4	200	0	800	-	1.16	-	-	平成4	-				
経済学科	4	100	0	400	学士(経済学)	1.16	-	-	平成4	福井県吉田郡永平寺町松岡東芝島4-1-1				
経営学科	4	100	0	400	学士(経営学)	1.17	-	-	平成4	同上				
生物資源学部	4	80	0	300	-	1.09	-	-	平成4	-				
生物資源学科	4	50	0	185	学士(生物資源学)	1.07	-	-	平成4	福井県吉田郡永平寺町松岡東芝島4-1-1	令和7年度から入学定員変更(45→50) 令和7年度から入学定員変更(25→30)および3年次編入学定員変更(5→0)			
創造農学科	4	30	0	115	学士(生物資源学)	1.13	-	-	令和2	福井県あわら市二面88-1				
海洋生物資源学部	4	80	0	320	-	1.07	-	-	平成21	-				
海洋生物資源学科	4	50	0	200	学士(海洋生物資源学)	1.09	-	-	平成21	福井県小浜市学園町1-1				
先端増養殖科学科	4	30	0	120	学士(海洋生物資源学)	1.03	-	-	令和4	福井県小浜市堅海49-8-2				
看護福祉学部	4	80	0	320	-	1.11	-	-	平成11	-				
看護学科	4	50	0	200	学士(看護学)	1.12	-	-	平成11	福井県吉田郡永平寺町松岡東芝島4-1-1				
社会福祉学科	4	30	0	120	学士(社会福祉学)	1.09	-	-	平成11	福井県吉田郡永平寺町松岡東芝島4-1-1				
恐竜学部	4	30	0	30	-	1.13	-	-	令和7	-				
恐竜・地質学科	4	30	0	30	学士(理学)	1.13	-	-	令和7	福井県吉田郡永平寺町松岡東芝島4-1-1				
大学全体	4	470	0	1765	-	-	-	-	-	-				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度 A C の対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
- 詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<恐竜学部 恐竜・地質学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	西 弘嗣 (66) <令和7年4月> 理学博士
		地球史入門 地球環境学概論 地層学 日本列島形成史 古生物地理学 古生物学Ⅱ(微古生物) 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基(主専)	教授	村山 雅史 (66) <令和8年4月> 博士(理学)
		地球化学序論 地球年代学 地球科学基礎実験 海洋底地球科学 海洋地球科学実習 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習
基(主専)	教授	神谷 隆宏 (66) <令和7年4月> 理学博士
		地球科学フィールド実習Ⅰ 地学概論 進化生物学 地球科学フィールド実習Ⅱ 古生物学実験 海洋地球科学実習 古生物学Ⅲ(無脊椎動物) 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習
基(主専)	教授	山田 努 (59) <令和8年4月> 博士(理学)
		地球化学序論 地球年代学 地質調査法実習Ⅰ 地質図学演習 地質調査法実習Ⅱ 地球化学実験 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習

【令和7年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
基(主専)	教授	西 弘嗣 (66) <令和7年4月> 理学博士
		地球史入門 地球環境学概論 地層学 日本列島形成史 古生物地理学 古生物学Ⅱ(微古生物) 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基(主専)	教授	村山 雅史 (66) <令和8年4月> 博士(理学)
		地球化学序論 地球年代学 地球科学基礎実験 海洋底地球科学 海洋地球科学実習 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習
基(主専)	教授	神谷 隆宏 (67) <令和7年4月> 理学博士
		地球科学フィールド実習Ⅰ 地学概論 進化生物学 地球科学フィールド実習Ⅱ 古生物学実験 海洋地球科学実習 古生物学Ⅲ(無脊椎動物) 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習
基(主専)	教授	山田 努 (59) <令和8年4月> 博士(理学)
		地球化学序論 地球年代学 地質調査法実習Ⅰ 地質図学演習 地質調査法実習Ⅱ 地球化学実験 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	高田 裕行 (57) ＜令和7年4月＞ 博士（地球環境科学）
		古生物学概論 地球科学基礎実験 古生物地理学 古生物データサイエンス学 古生物多様性学 古生物学Ⅱ（微古生物） 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	教授	土屋 正史 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		地球化学序論 海洋生物学 科学英語 進化生物学 海洋地球科学実習 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習
基（主専）	教授	河部 壮一郎 (39) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		脊椎動物の進化 古生物学Ⅰ（脊椎動物） デジタル古生物学概論 デジタル古生物学研究法実習 古生物学実習Ⅱ コンピュータグラフィック概論 博物館実習 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	教授	藤田 和彦 (53) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		科学英語 古生物学実験 地球環境変動学 古生物データサイエンス学 古生物学Ⅲ（無脊椎動物） 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	高田 裕行 (57) ＜令和7年4月＞ 博士（地球環境科学）
		古生物学概論 地球科学基礎実験 古生物地理学 古生物データサイエンス学 古生物多様性学 古生物学Ⅱ（微古生物） 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	教授	土屋 正史 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		地球化学序論 海洋生物学 科学英語 進化生物学 海洋地球科学実習 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習
基（主専）	教授	河部 壮一郎 (39) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		脊椎動物の進化 古生物学Ⅰ（脊椎動物） デジタル古生物学概論 デジタル古生物学研究法実習 古生物学実習Ⅱ コンピュータグラフィック概論 博物館実習 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	教授	藤田 和彦 (53) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		科学英語 古生物学実験 地球環境変動学 古生物データサイエンス学 古生物学Ⅲ（無脊椎動物） 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	柴田 正輝 (49) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		恐竜学 地球科学フィールド実習Ⅰ 古生物学実習Ⅰ 恐竜発掘実習 恐竜学特論 博物館展示論 博物館実習 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	教授	安藤 寿男 (68) ＜令和7年4月＞ 理学博士
		古生物学概論 地球環境学概論 地層学 日本列島形成史 地質調査法実習Ⅰ 地質図学演習 地球科学フィールド実習Ⅱ 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習
基（主専）	教授	大石 善隆 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		植物生態学 生物学序論 古植物学 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	准教授	中村 英人 (42) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		地球化学序論 地学概論 地球科学基礎実験 地球化学 地球化学実験 古植物学 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	教授	柴田 正輝 (49) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		恐竜学 地球科学フィールド実習Ⅰ 古生物学実習Ⅰ 恐竜発掘実習 恐竜学特論 博物館展示論 博物館実習 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	教授	安藤 寿男 (68) ＜令和7年4月＞ 理学博士
		古生物学概論 地球環境学概論 地層学 日本列島形成史 地質調査法実習Ⅰ 地質図学演習 地球科学フィールド実習Ⅱ 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習
基（主専）	教授	大石 善隆 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		植物生態学 生物学序論 古植物学 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	准教授	中村 英人 (42) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		地球化学序論 地学概論 地球科学基礎実験 地球化学 地球化学実験 古植物学 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	准教授	鹿納 晴尚 (53) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		デジタル古生物学概論 デジタル古生物学研究法実習 地質調査法実習Ⅱ コンピュータグラフィック概論 博物館展示論 博物館情報・メディア論 博物館資料論 博物館資料保存論 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	准教授	林 圭一 (42) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		地質調査法実習Ⅰ 地質図学演習 地球科学フィールド実習Ⅱ 地質調査法実習Ⅱ 応用地質学 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習
基（主専）	准教授	今井 拓哉 (37) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		地球科学フィールド実習Ⅰ 脊椎動物の進化 科学英語 進化生物学 古生物学Ⅰ（脊椎動物） 古生物学実習Ⅰ コンピュータグラフィック概論 博物館実習 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	准教授	服部 創紀 (36) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		地球科学フィールド実習Ⅰ 恐竜学 古生物学Ⅰ（脊椎動物） 恐竜発掘実習 恐竜学特論 博物館実習 古生物学実習Ⅰ 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	准教授	鹿納 晴尚 (53) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		デジタル古生物学概論 デジタル古生物学研究法実習 地質調査法実習Ⅱ コンピュータグラフィック概論 博物館展示論 博物館情報・メディア論 博物館資料論 博物館資料保存論 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	准教授	林 圭一 (42) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		地質調査法実習Ⅰ 地質図学演習 地球科学フィールド実習Ⅱ 地質調査法実習Ⅱ 応用地質学 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習
基（主専）	准教授	今井 拓哉 (37) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		地球科学フィールド実習Ⅰ 脊椎動物の進化 科学英語 進化生物学 古生物学Ⅰ（脊椎動物） 古生物学実習Ⅰ コンピュータグラフィック概論 博物館実習 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	准教授	服部 創紀 (36) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		地球科学フィールド実習Ⅰ 恐竜学 古生物学Ⅰ（脊椎動物） 恐竜発掘実習 恐竜学特論 博物館実習 古生物学実習Ⅰ 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	助教	木下 峻一 (36) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		古生物データサイエンス学 古生物学Ⅱ（微古生物） コンピュータグラフィック概論 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	助教	前田 歩 (32) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		地球化学序論 地球化学 地球化学実験 海洋地球科学実習 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習
基（主専）	助教	大山 望 (30) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		地質調査法実習Ⅱ 古生物学実習Ⅰ 古生物学Ⅲ（無脊椎動物） 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（他）	教授	法木 左近 (65) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		生物学序論 デジタル古生物学概論 デジタル古生物学研究法実習 古生物学実習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
その他	教授	清水 聡 (64) ＜令和7年4月＞ 修士（学術）※
		心理学 特別支援教育
その他	教授	石原 一成 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 体育実技Ⅲ スポーツ科学 運動処方論 導入ゼミナール 教養ゼミナール

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基（主専）	助教	木下 峻一 (36) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		古生物データサイエンス学 古生物学Ⅱ（微古生物） コンピュータグラフィック概論 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（主専）	助教	前田 歩 (32) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		地球化学序論 地球化学 地球化学実験 海洋地球科学実習 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 地質学課題演習
基（主専）	助教	大山 望 (30) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		地質調査法実習Ⅱ 古生物学実習Ⅰ 古生物学Ⅲ（無脊椎動物） 地球科学フィールド研究 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
基（他）	教授	法木 左近 (65) ＜令和7年4月＞ 医学博士
		生物学序論 デジタル古生物学概論 デジタル古生物学研究法実習 古生物学実習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業研究 古生物学課題演習
その他	教授	清水 聡 (64) ＜令和7年4月＞ 修士（学術）※
		心理学 特別支援教育
その他	教授	石原 一成 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 体育実技Ⅲ スポーツ科学 運動処方論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	亀田 勝見 (57) ＜令和7年4月＞ 博士（文学） 東洋思想 東洋史 東洋の世界 導入ゼミナール 教養ゼミナール
その他	教授	石丸 香苗 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（農学） 地理学

教員区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	近藤 雄一郎 (41) ＜令和7年4月＞ 博士（教育学） 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ
その他	講師	山田 孝禎 (45) ＜令和7年4月＞ 博士（学術） 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ
その他	講師	兼井 則和 (69) ＜令和7年4月＞ 体育学士 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ
その他	講師	内田 雄 (37) ＜令和7年4月＞ 博士（学術） 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ
その他	講師	山次 俊介 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（学術） 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ
その他	講師	鉾嶋（長谷川） 優樹 (32) ＜令和7年4月＞ 修士（体育学） 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ
その他	教授	亀田 勝見 (57) ＜令和7年4月＞ 博士（文学） 東洋思想 東洋史 東洋の世界
その他	教授	石丸 香苗 (53) ＜令和7年4月＞ 博士（農学） 地理学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	長岡 亜生 (56) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）※
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語発展ⅠA 英語発展ⅠB 英語発展ⅡA 英語発展ⅡB 英語発展ⅢA 英語発展ⅢB 英語発展ⅣA 英語発展ⅣB 英語発展ⅤA 英語発展ⅤB 英語発展ⅥA 英語発展ⅥB
その他	教授	森 英樹 (47) ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		言語学 英語A 英語B 英語C 英語D 英語発展ⅠA 英語発展ⅠB 英語発展ⅡA 英語発展ⅡB 英語発展ⅢA 英語発展ⅢB 英語発展ⅣA 英語発展ⅣB 英語発展ⅤA 英語発展ⅤB 英語発展ⅥA 英語発展ⅥB
その他	教授	横田 実世 (59) ＜令和7年4月＞ Ph. D（形質・自然人類学）（米国）
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語発展ⅠA 英語発展ⅠB 英語発展ⅡA 英語発展ⅡB 英語発展ⅢA 英語発展ⅢB 英語発展ⅣA 英語発展ⅣB 英語発展ⅤA 英語発展ⅤB 英語発展ⅥA 英語発展ⅥB
その他	教授	黒田 祐二 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）
		臨床心理学概論 教育心理学 生徒・進路指導論 教育相談 教職実践演習 学校インターンシップA

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	長岡 亜生 (56) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）※
		英語A 英語発展ⅣA 英語発展ⅣB
その他	教授	森 英樹 (47) ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		言語学 英語D 英語発展ⅤA 英語発展ⅤB
その他	教授	横田 実世 (59) ＜令和7年4月＞ Ph. D（形質・自然人類学）（米国）
		英語C 英語発展ⅠA 英語発展ⅠB
その他	教授	黒田 祐二 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）
		臨床心理学概論 教育心理学 生徒・進路指導論 教育相談 教職実践演習 学校インターンシップA（学校体 験活動）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	片野 肇 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		化学 I
その他	教授	末武 弘章 (54) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		水産増養殖学概論
その他	教授	日辛 隆雄 (60) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		暮らしを支える生物資源
その他	教授	伊藤 貴文 (49) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		バイオサイエンス基礎
その他	教授	木野 龍太郎 (54) ＜令和7年4月＞ 博士（経営学）
		経営学
その他	教授	清水 葉子 (57) ＜令和7年4月＞ 修士（経済学）
		経済学

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	片野 肇 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		化学 I
その他	教授	富永 修 (68) ＜令和7年4月＞ 博士（水産学）
		水産増養殖学概論
その他	教授	日辛 隆雄 (61) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		暮らしを支える生物資源
その他	教授	伊藤 貴文 (49) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		バイオサイエンス基礎
その他	教授	木野 龍太郎 (54) ＜令和7年4月＞ 博士（経営学）
		経営学
その他	教授	清水 葉子 (57) ＜令和7年4月＞ 修士（経済学）
		経済学
その他	准教授	池本 裕行 (40) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		経済学
その他	准教授	加藤 健太郎 (51) ＜令和7年4月＞ 博士（経済学）
		経済学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	水田 尚志 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		海と暮らし
その他	教授	杉山 泰之 (52) ＜令和7年4月＞ 博士（経済学）
		福井を学ぶ
その他	准教授	森嶋 俊行 (41) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		地誌学
その他	准教授	加藤 まどか (60) ＜令和7年4月＞ 修士（社会学）※
		社会学 ジェンダー論 現代家族論 導入ゼミナール 教養ゼミナール
その他	准教授	松本 涼 (42) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）※
		西洋史 神話学 歴史学 導入ゼミナール 教養ゼミナール
その他	准教授	根田 恵多 (36) ＜令和7年4月＞ 修士（学術）
		法学 日本国憲法 国際社会と法 現代人権論【隔年】 導入ゼミナール 教養ゼミナール

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	水田 尚志 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		海と暮らし
その他	教授	前田 陽次郎 (54) ＜令和7年4月＞ 博士（経済学）
		福井を学ぶ
その他	准教授	森嶋 俊行 (41) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		地誌学
その他	准教授	加藤 まどか (60) ＜令和7年4月＞ 修士（社会学）※
		社会学 ジェンダー論 現代家族論
その他	准教授	松本 涼 (42) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）※
		西洋史 神話学 歴史学 導入ゼミナール 教養ゼミナール
その他	講師	上柿 智生 (42) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		西洋史 歴史学
その他	准教授	根田 恵多 (36) ＜令和7年4月＞ 修士（学術）
		法学 日本国憲法 国際社会と法 現代人権論【隔年】

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	渡邊 浩一 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）
		哲学 倫理学 西洋思想 導入ゼミナール 教養ゼミナール
その他	准教授	森本 康太郎 (49) ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）
		キャリア形成論
その他	准教授	田中 武之 (60) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		ICTリテラシー データサイエンス基礎 解析学 代数学 統計学基礎
その他	准教授	徳野 淳子 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（情報科学）
		ICTリテラシー データサイエンス基礎 情報科学 プログラミング基礎 情報処理演習（AI） メディア情報リテラシー 情報技術者（国家試験Ⅰ） 情報技術者（国家試験Ⅱ） 情報技術者（民間資格）
その他	准教授	村田 知也 (42) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		ICTリテラシー 情報科学 プログラミング応用 情報活用プロジェクト演習 情報処理演習（Web開発） 情報処理演習（CG）
その他	准教授	谷川 衝 (44) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		データサイエンス基礎 データサイエンス応用 数学基礎 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	渡邊 浩一 (47) ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）
		哲学 倫理学 西洋思想
その他	准教授	森本 康太郎 (49) ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）
		キャリア形成論
その他	准教授	田中 武之 (61) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		データサイエンス基礎 解析学 代数学 統計学基礎
その他	教授	徳野 淳子 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（情報科学）
		ICTリテラシー メディア情報リテラシー 情報技術者（国家試験Ⅰ）
その他	准教授	村田 知也 (42) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		ICTリテラシー 情報科学 プログラミング応用 情報活用プロジェクト演習 情報処理演習（Web開発） 情報処理演習（CG）
その他	准教授	谷川 衝 (44) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		データサイエンス基礎 データサイエンス応用 数学基礎 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	デンマン ジヤレット Jared Denman (42) ＜令和7年4月＞ 博士（日本学）
		英語B 英語D 英語発展ⅠA 英語発展ⅠB 英語発展ⅡA 英語発展ⅡB 英語発展ⅢA 英語発展ⅢB 英語発展ⅣA 英語発展ⅣB 英語発展ⅤA 英語発展ⅤB 英語発展ⅥA 英語発展ⅥB
その他	准教授	渡邊 綾 (42) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		英語A 英語B 英語C 英語D 英語発展ⅠA 英語発展ⅠB 英語発展ⅡA 英語発展ⅡB 英語発展ⅢA 英語発展ⅢB 英語発展ⅣA 英語発展ⅣB 英語発展ⅤA 英語発展ⅤB 英語発展ⅥA 英語発展ⅥB

教員区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	助教	眞田 嵩大 (29) ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		プログラミング基礎 情報処理演習（AI） 情報技術者（民間資格）
その他	講師	清水 康弘 (46) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		ICTリテラシー
その他	講師	佐藤 英治 (54) ＜令和7年4月＞ 修士（情報科学）
		情報技術者（民間資格）
その他	准教授	デンマン ジヤレット Jared Denman (42) ＜令和7年4月＞ 博士（日本学）
		英語発展ⅡA 英語発展ⅡB 海外英語研修A 海外英語研修B
その他	准教授	渡邊 綾 (42) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		英語発展ⅥA 英語発展ⅥB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	國崎 大恩 (45) ＜令和7年4月＞ 修士（人間科学）※
		教育原理 教育史 教師論 教育実習 教職実践演習 道德教育の理論と実践 博物館教育論 生涯学習概論 学校インターンシップB

教員区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	國崎 大恩 (45) ＜令和7年4月＞ 修士（人間科学）※
		教育原理・教育課程論 教育史 教師論 教育実習 教職実践演習 道德教育の理論と実践 博物館教育論 生涯学習概論 学校インターンシップB（学校体験活動）
その他	講師	マシュー・ハウカ (49) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		英語B 英語発展ⅠA 英語発展ⅠB
その他	講師	ポール・バトラー田中 (65) ＜令和7年4月＞ M.A in TESOL (英国)
		英語発展ⅡA 英語発展ⅡB
その他	講師	マリア・マラホヴァ (46) ＜令和7年4月＞ Bachelor of Linguistics (モルドバ共和国)
		英語発展ⅡA 英語発展ⅡB
その他	講師	デラヤナ・ラルフ・ラグダ (46) ＜令和7年4月＞ 修士（言語学）
		英語発展ⅡA
その他	講師	天谷 美和 (62) ＜令和7年4月＞ 学士（英語学）
		英語発展ⅢA 英語発展ⅢB
その他	講師	小松 恭代 (65) ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		英語発展ⅢA 英語発展ⅢB

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	加藤 久晴 (60) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		生物学Ⅰ
その他	講師	永田 伸吾 (52) ＜令和7年4月＞ 博士（法学）
		政治学
その他	講師	小山田 圭一 (43) ＜令和7年4月＞ 博士（学術）
		宗教学

教員区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	熊谷 正 (66) ＜令和7年4月＞ 文学修士
		英語発展ⅢA 英語発展ⅢB
その他	講師	藤田 侑平 (42) ＜令和7年4月＞ MA in Philosophy (英国)
		英語発展ⅢB
その他	講師	池田 有花 (53) ＜令和7年4月＞ MA in ELT(英国)
		英語発展ⅣA 英語発展ⅣB 英語発展ⅥA 英語発展ⅥB
その他	講師	浅井 純子 (59) ＜令和7年4月＞ 修士（国際学）
		英語発展ⅤA 英語発展ⅤB
その他	講師	小木 みゆき (53) ＜令和7年4月＞ MA in TEFL(英国)
		英語発展ⅤA
その他	講師	ロレイン・サッカ (66) ＜令和7年4月＞ Ma in TESOL(米国)
		英語発展ⅥA 英語発展ⅥB
その他	准教授	加藤 久晴 (60) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		生物学Ⅰ
その他	講師	永田 伸吾 (52) ＜令和7年4月＞ 博士（法学）
		政治学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	加藤 錦霞 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		言語文化（中国）A 言語文化（中国）B 東アジアの文化と社会 中国語A 中国語B 中国語C 中国語D
その他	講師	李 昌烈 (69) ＜令和7年4月＞ 文学修士
		言語文化（韓国朝鮮）A 言語文化（韓国朝鮮）B 韓国朝鮮語A 韓国朝鮮語B
その他	講師	乙部 貴幸 (48) ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）
		発達心理学

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	山田 実季 (30) ＜令和7年4月＞ 修士（人間・環境学）
		宗教学
その他	講師	加藤 錦霞 (59) ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		言語文化（中国）A 言語文化（中国）B 東アジアの文化と社会 中国語A 中国語B 中国語C 中国語D
その他	講師	武 清陽 (27) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		中国語A
その他	講師	西川 芳樹 (44) ＜令和7年4月＞ 修士（文学）
		中国語A 中国語B
その他	講師	劉 仙姫 (52) ＜令和7年4月＞ 博士（法学）
		言語文化（韓国朝鮮）B 韓国朝鮮語B
その他	講師	姜 瑛景 (51) ＜令和7年4月＞ 韓国語学文学士（大韓民国）
		言語文化（韓国朝鮮）A 韓国朝鮮語A
その他	講師	乙部 貴幸 (48) ＜令和7年4月＞ 博士（心理学）
		発達心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	木村 優 (47) ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
		教育方法論（情報通信技術の活用含む）
その他	講師	桐村 豪文 (40) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		教育制度論
その他	講師	藤原 靖浩 (39) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		特別活動及び総合的な探究の時間の指導法
その他	講師	浅原 雅浩 (55) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ
その他	講師	山田 吉英 (47) ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）
		理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ
その他	講師	寺町 晋哉 (41) ＜令和7年4月＞ 博士（人間科学）
		教育社会学
その他	講師	塚田 孝子 (53) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		生徒・進路指導論
その他	講師	山田 智之 (63) ＜令和7年4月＞ 博士（総合社会文化）
		生徒・進路指導論
その他	講師	ウィライク・ナクスリ Willailak Naksri (44) ＜令和8年4月＞ PhD. Paleontology（タイ王国）
		ジオパーク学

教員区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	木村 優 (47) ＜令和7年4月＞ 博士（教育学）
		教育方法論（情報通信技術の活用含む）
その他	講師	桐村 豪文 (40) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		教育制度論
その他	講師	藤原 靖浩 (39) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		特別活動及び総合的な探究の時間の指導法
その他	講師	浅原 雅浩 (55) ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ
その他	講師	山田 吉英 (47) ＜令和7年4月＞ 博士（人間・環境学）
		理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ
その他	講師	寺町 晋哉 (41) ＜令和7年4月＞ 博士（人間科学）
		教育社会学
その他	講師	塚田 孝子 (53) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		生徒・進路指導論
その他	講師	山田 智之 (64) ＜令和7年4月＞ 博士（総合社会文化）
		生徒・進路指導論
その他	講師	ウィライク・ナクスリ Willailak Naksri (44) ＜令和8年4月＞ PhD. Paleontology（タイ王国）
		ジオパーク学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	デビッド・バリッチ David Varricchio (63) ＜令和8年4月＞ PhD. Biology (米国)
		恐竜学特論
その他	講師	町 澄秋 (43) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		ジオパーク学
その他	講師	山本 裕二 (51) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		地球物理学
その他	講師	高嶋 礼詩 (53) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		岩石・鉱物学
その他	講師	山岸 鑑頌 (43) ＜令和9年4月＞ 学士（工学）
		応用地質学
その他	講師	高野 政志 (62) ＜令和9年4月＞ 学士（土木工学）
		応用地質学
その他	講師	一島 啓人 (61) ＜令和8年4月＞ PhD. Paleontology (ニュージーランド)
		博物館経営論 古生物学Ⅰ（脊椎動物）
その他	講師	寺田 和雄 (59) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		古植物学
その他	講師	宮田 和周 (57) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		古生物学Ⅰ（脊椎動物）

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	デビッド・バリッチ David Varricchio (63) ＜令和8年4月＞ PhD. Biology (米国)
		恐竜学特論
その他	講師	町 澄秋 (43) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		ジオパーク学
その他	講師	山本 裕二 (51) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		地球物理学
その他	講師	高嶋 礼詩 (53) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		岩石・鉱物学
その他	講師	山岸 鑑頌 (43) ＜令和9年4月＞ 学士（工学）
		応用地質学
その他	講師	高野 政志 (62) ＜令和9年4月＞ 学士（土木工学）
		応用地質学
その他	講師	一島 啓人 (61) ＜令和8年4月＞ PhD. Paleontology (ニュージーランド)
		博物館経営論 古生物学Ⅰ（脊椎動物）
その他	講師	寺田 和雄 (59) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		古植物学
その他	講師	宮田 和周 (57) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		古生物学Ⅰ（脊椎動物）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	関谷 透 (44) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		恐竜学特論
その他	講師	藺田 哲平 (41) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		古生物学Ⅰ（脊椎動物）
その他	講師	中田 健太郎 (43) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		古生物学Ⅲ（無脊椎動物）
その他	講師	湯川 弘一 (40) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		古植物学
その他	講師	静谷 あてな (36) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		地球化学
その他	講師	中山 健太郎 (37) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		古生物学Ⅲ（無脊椎動物）
その他	講師	築地 祐太 (34) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		恐竜学特論
その他	講師	安里 開士 (35) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		古生物学Ⅲ（無脊椎動物）
その他	講師	千秋 利弘 (55) ＜令和8年4月＞ 学士（理学）
		博物館資料保存論 博物館情報・メディア論

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	関谷 透 (44) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		恐竜学特論
その他	講師	藺田 哲平 (41) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		古生物学Ⅰ（脊椎動物）
その他	講師	中田 健太郎 (43) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		古生物学Ⅲ（無脊椎動物）
その他	講師	湯川 弘一 (40) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		古植物学
その他	講師	静谷 あてな (36) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		地球化学
その他	講師	中山 健太郎 (37) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		古生物学Ⅲ（無脊椎動物）
その他	講師	築地 祐太 (34) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		恐竜学特論
その他	講師	安里 開士 (35) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		古生物学Ⅲ（無脊椎動物）
その他	講師	千秋 利弘 (55) ＜令和8年4月＞ 学士（理学）
		博物館資料保存論 博物館情報・メディア論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	蘇 綾 (37) ＜令和8年4月＞ 修士（理学）
		博物館展示論
その他	講師	小泉 早千穂 (31) ＜令和9年4月＞ 修士（理学）
		博物館資料論
その他	講師	菅原 大助 (50) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		災害・防災学Ⅰ
その他	講師	後藤 和久 (48) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		災害・防災学Ⅰ
その他	講師	西山 賢一 (56) ＜令和10年4月＞ 博士（理学）
		災害・防災学Ⅱ
その他	講師	長岡 達哉 (41) ＜令和9年4月＞ 学士（工学）
		GIS・リモートセンシング学
その他	講師	中川 良平 (48) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		博物館概論
その他	講師	高津 翔平 (35) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		博物館概論
その他	講師	池上 直樹 (57) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		博物館経営論

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	蘇 綾 (37) ＜令和8年4月＞ 修士（理学）
		博物館展示論
その他	講師	小泉 早千穂 (31) ＜令和9年4月＞ 修士（理学）
		博物館資料論
その他	講師	菅原 大助 (50) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		災害・防災学Ⅰ
その他	講師	後藤 和久 (48) ＜令和9年4月＞ 博士（理学）
		災害・防災学Ⅰ
その他	講師	西山 賢一 (56) ＜令和10年4月＞ 博士（理学）
		災害・防災学Ⅱ
その他	講師	長岡 達哉 (41) ＜令和9年4月＞ 学士（工学）
		GIS・リモートセンシング学
その他	講師	中川 良平 (48) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		博物館概論
その他	講師	高津 翔平 (35) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		博物館概論
その他	講師	池上 直樹 (57) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		博物館経営論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	辻野 泰之 (48) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		博物館経営論

教員区分	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	辻野 泰之 (48) ＜令和8年4月＞ 博士（理学）
		博物館経営論
その他	講師	澤崎 幸江 (53) ＜令和7年4月＞ 修士（教育学）
		日本語A 日本語B
その他	講師	塚原 典央 (69) ＜令和7年4月＞ 文学修士
		導入ゼミナール 教養ゼミナール
その他	講師	山川 修 (67) ＜令和7年4月＞ 理学博士
		導入ゼミナール 教養ゼミナール
その他	講師	杉村 和彦 (66) ＜令和7年4月＞ 博士（農学）
		導入ゼミナール

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。
(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）
（その2の2）（その2の3）に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については改正前様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員）を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」（改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」）の順に記入してください。
 - ・ 改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以降については、主要授業科目にあ
 - ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間（年月日）を上段「学位」の下へ記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に**変更後のカリキュラム（新カリキュラム）**の授業科目名を記入するとともに、下段に**変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）**の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- 担当科目の変更
 - ・「英語A」の授業運営方法の変更に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：横田 実世、渡邊 綾、森 英樹
 - ・「英語B」の授業運営方法の変更に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：横田 実世、渡邊 綾、森 英樹、長岡 亜生、デンマン ジャレット
 - ・「英語C」の授業運営方法の変更に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：渡邊 綾、森 英樹、長岡 亜生
 - ・「英語D」の授業運営方法の変更に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：横田 実世、渡邊 綾、長岡 亜生、デンマン ジャレット
 - ・「ICTリテラシー」の授業運営方法の変更に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：田中 武之
担当者：清水 康弘
 - ・「データサイエンス基礎」の授業運営方法の変更に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：徳野 淳子
 - ・「情報科学」の授業運営方法の変更に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：徳野 淳子
 - ・「英語発展ⅠA」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：長岡 亜生、森 英樹、デンマン ジャレット、渡邊 綾
担当者：マッシュュー・ハウカ
 - ・「英語発展ⅠB」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：長岡 亜生、森 英樹、デンマン ジャレット、渡邊 綾
担当者：マッシュュー・ハウカ
 - ・「英語発展ⅡA」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：長岡 亜生、森 英樹、横田 実世、渡邊 綾
担当者：ポール・バトラー・田中、マリヤ・マラホヴァ、デラヤナ・ラルフ・ラグダ
 - ・「英語発展ⅡB」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：長岡 亜生、森 英樹、横田 実世、渡邊 綾
担当者：ポール・バトラー・田中、マリヤ・マラホヴァ
 - ・「英語発展ⅢA」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：長岡 亜生、森 英樹、デンマン ジャレット、横田 実世、渡邊 綾
担当者：天谷 美和、小松 恭代、熊谷 正
 - ・「英語発展ⅢB」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：長岡 亜生、森 英樹、デンマン ジャレット、横田 実世、渡邊 綾
担当者：天谷 美和、小松 恭代、熊谷 正、藤田 侑平
 - ・「英語発展ⅣA」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：森 英樹、デンマン ジャレット、横田 実世、渡邊 綾
担当者：池田 有花
 - ・「英語発展ⅣB」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：森 英樹、デンマン ジャレット、横田 実世、渡邊 綾
担当者：池田 有花
 - ・「英語発展ⅤA」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：長岡 亜生、デンマン ジャレット、横田 実世、渡邊 綾
担当者：浅井 純子、小木 みゆき
 - ・「英語発展ⅤB」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：長岡 亜生、デンマン ジャレット、横田 実世、渡邊 綾
担当者：浅井 純子
 - ・「英語発展ⅥA」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：長岡 亜生、森 英樹、デンマン ジャレット、横田 実世
担当者：ロレイン・サッカ、池田 有花
 - ・「英語発展ⅥB」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：長岡 亜生、森 英樹、デンマン ジャレット、横田 実世
担当者：ロレイン・サッカ、池田 有花
 - ・「海外英語研修A」の追加に伴い、担当教員を追加する。
担当者：デンマン ジャレット
 - ・「海外英語研修B」の追加に伴い、担当教員を追加する。
担当者：デンマン ジャレット
 - ・「プログラミング基礎」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：徳野 淳子
担当者：眞田 嵩大
 - ・「情報処理演習(AI)」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：徳野 淳子
担当者：眞田 嵩大
 - ・「情報技術者(国家試験Ⅱ)」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：徳野 淳子
担当者：佐藤 英治
 - ・「情報技術者(民間資格)」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：徳野 淳子
担当者：眞田 嵩大
 - ・「宗教学」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：小山田 圭一
担当者：山田 実季
 - ・「宗教学」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：松本 涼
担当者：上柿 智生
 - ・「歴史学」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：松本 涼
担当者：上柿 智生
 - ・「言語文化(韓国朝鮮)A」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：李 昌烈
担当者：姜 瑛景
 - ・「言語文化(韓国朝鮮)B」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：李 昌烈
担当者：劉 仙姬
 - ・教育課程の充実を図るため、「経済学」に担当教員を追加する。
担当者：池本 裕行、加藤 健太郎
 - ・教育課程の充実を図るため、「体育実技Ⅰ」に担当教員を追加する。
担当者：近藤 雄一郎、山田 孝禎、兼井 則和、内田 雄、山次 俊介、鯉嶋(長谷川) 優樹
 - ・教育課程の充実を図るため、「体育実技Ⅱ」に担当教員を追加する。
担当者：近藤 雄一郎、山田 孝禎、兼井 則和、内田 雄、山次 俊介、鯉嶋(長谷川) 優樹
 - ・「福井を学ぶ」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：杉山 泰之
担当者：前田 陽次郎
 - ・「水産増養殖学概論」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：末武 弘章
担当者：富永 修
 - ・「日本語A」の追加に伴い、担当教員を追加する。
担当者：澤崎 幸江
 - ・「日本語B」の追加に伴い、担当教員を追加する。
担当者：澤崎 幸江
 - ・教育課程の充実を図るため、「中国語A」に担当教員を追加する。
担当者：武 清陽、西川 芳樹
 - ・教育課程の充実を図るため、「中国語B」に担当教員を追加する。
担当者：西川 芳樹
 - ・「韓国朝鮮語A」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：李 昌烈
担当者：姜 瑛景
 - ・「韓国朝鮮語B」の担当者辞退に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：李 昌烈
担当者：劉 仙姬
 - ・「導入ゼミナール」の授業運営方法の変更に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：加藤 まどか、亀田 勝晃、石原 一成、渡邊 浩一、松本 涼、根田 恵多
担当者：塚原 典央、山川 修
 - ・「教養ゼミナール」の授業運営方法の変更に伴い、担当教員を変更する。
辞退者：加藤 まどか、亀田 勝晃、石原 一成、渡邊 浩一、松本 涼、根田 恵多
担当者：塚原 典央、山川 修、杉村 和彦
- その他
 - ・國崎 大恩准教授が教授へ昇任
 - ・徳野 淳子准教授が教授へ昇任

(注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。

原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります。

- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度（令和６年度開設であれば令和５年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）」の設置の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2) -② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) -① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数（α）	うち、完成年度時における 設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員研究に従事する必 要基幹教員数（α）の4 分の3以上
12 名	6 名	9 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) -② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計） （A'）	助手（A''）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計） （B'）	助手（B''）
12	5	0	3	20	19	0	9	3	0	2	14	13	0
(9)	(3)	(0)	(2)	(14)	(13)	0							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計） （C'）	助手（C''）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の 教育研究に従事する者 （「基（主専）」及び 「基（専）」の計） （D'）	助手（D''）
12	5	0	3	20	19	0	12	5	0	3	20	19	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A'）」欄には「－」を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、（ ）内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	4 名	5 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】
$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{20}{20} = \boxed{100} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】
$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{19}{19} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{4}{14} = \boxed{28.57} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C''）}}{\text{設置時の計画（A''）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹(専任)教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
							該当なし			
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）				①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。

就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」

・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
							該当なし			
合 計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹(専任)教員について、記入してください。

(学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)

・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」

・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{20} = 0 \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹(専任)教員等の状況

0 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹(専任)教員数の合計数を記載してください。

・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和6年)	・学科名称が学部名称よりも広い学問領域を表しているように見えるため、入学を希望する学生に誤解を生じさせることが懸念される。そのため、学生募集に当たってはあらかじめ、本学部・学科の教育内容を明確に示すとともに、3年次からのコース分けに当たって仮に選考を行うのであれば、その選考基準も明確に示すことにより、必ずしも「恐竜」に限って学ぶことができるわけではないことを明確に示すこと。また、本学部・学科を卒業した学生の想定進路先に対しても、本学部・学科の教育内容や学生が身に付ける知識や能力を適切に説明し、誤解が生じないようにすること。	【認可】 遵守事項 本学部の教育内容について、リーフレットおよび大学案内、入学者選抜要項などに詳しく記載し、学生に誤解を生じさせないよう配慮した。 また、想定進路先についても、古生物学や地質学を中心とした地球科学の専門知識を活かして、幅広い業種で業務に従事することができる旨、記載している。(7)	引き続きリーフレット、大学案内、入学者選抜要項に本学部の教育内容等を記載するとともに、HPやSNS等においても発信していく。 また、オープンキャンパスや進学相談会などのイベント時に、学生や保護者向けに直接説明を行う。(7)
認 可 時 (令和6年)	・二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	【認可】 遵守事項 令和7年度（開設年度）は永平寺キャンパスのみで授業等が完結することから、永平寺キャンパスにおいて教員研究室および研究施設を整備している。令和7年度中に勝山キャンパスを整備する計画である。 学生の課外活動については、永平寺キャンパスの既存の課外活動等に参加を促している(7)	設置計画に基づき、令和7年度中に勝山キャンパスにおいて教員研究室及び研究環境の整備を行い、いずれのキャンパスでも教育研究に支障がない状況を整備する。 学生の課外活動等については、学生支援委員会を中心に学部全体で支援を行う。(7)
認 可 時 (令和6年)	・教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	【認可】 遵守事項 令和7年度入学者選抜において、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学者選抜を実施したことにより、30名の入学定員のところ、264名の志願があり、最終的に34名の学生が入学した。(7)	今年度入学者の学修状況に留意しつつ、今後も適切な入学者選抜を行うことにより、継続して収容定員に定める入学者数を確保していく。(7)

認 可 時 (令和 6 年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項	「公立大学法人福井県立大学職員就業規則」および「公立大学法人福井県立大学特命教員設置規程」を適用し、完成年度まで定年を延長し、適切な運用に努める。（７）	履行中	定年の延長期間経過後に退職することとなる教員の後任補充については、各教員の専門分野に係る若手教員の採用手続きを行う予定。完成年度以降も、専門分野や職位、年齢構成等のバランスを勘案して、教育組織の継続性および一貫性を保つよう努める。（７）
-----------------------	---	--------------	--	-----	--

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

【令和 6 年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和 6 年度報告書の記載内容を転記し文末に「（６）（７）」と記載してください。

【令和 7 年度から新たに調査対象となった学科等又は令和 6 年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（７）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜恐竜学部 恐竜・地質学科＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

福井県立大学教育研究委員会FD部会（平成30年度設置）

＜これより、関係規程＞

福井県立大学教育研究委員会FD部会要領（平成30年4月1日 公立大学法人福井県立大学要領第1号）

（設置）

第1条 公立大学法人福井県立大学委員会規程（平成29年公立大学法人福井県立大学規程第2号）第6条の規定に基づき、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）に関する協議検討を行うため、教育研究委員会にFD部会（以下「部会」という。）を置く。

（所掌事項）

第2条 部会は、次の事項を協議検討する。

- （１）授業評価に関する事項
- （２）学内研修に関する事項
- （３）教学改善に関する事項（教学に関するIR）
- （４）その他FDに関する事項

（組織）

第3条 部会は、次の委員をもって組織する。

- （１）各学部の教員各1名

- （２）情報センター、国際センター、地域連携センターおよび共通教育センターの教員各1名

2 必要があるときは、前項の委員に各学部、情報センター、国際センター、地域連携センターおよび共通教育センターの教員各1名を加えることができる。

3 第2条(3)については、分析課題が提起された場合には教学IR作業グループ（以下「作業グループ」という。）を組織する。この作業グループの活動中は、部会メンバーの1名をその担当者とし、その活動を監督する。作業グループには別にリーダーをおき、その運営については別途定める。

4 第1項および第2項に掲げる委員は、教育研究委員会委員長が選任する。

（任期）

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の任期の残余の期間とする。

2 委員は、再任することができる。

（部会長）

第5条 部会に部会長を置き、第3条第1項および第2項に掲げる委員の中から互選によって定める。

2 部会長は、部会の会務を総理する。

3 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長の指名を受けた者がその職務を代行する。

(会議)

第6条 部会の会議は、部会長が招集し、その議長となる。

(委員以外の教職員の出席)

第7条 議長は、委員以外の教職員を部会に出席させて説明を求め、または意見を述べさせることができる。

(庶務)

第8条 部会の庶務は、事務局教育推進課において行う。

(委任)

第9条 この要領に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会の議を経て、教育研究委員会委員長が定める。

附 則

この要領は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和6年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、令和7年4月1日から施行する。

<以上、関係規程>

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 令和6年 6月 6日（月） 委員7名出席
- ・ 令和6年10月11日（金） 委員6名出席
- ・ 令和6年12月 2日（月） 委員6名出席
- ・ 令和7年 3月25日（火） 委員5名出席

c 委員会の審議事項等

- ・ 授業評価に関する事項
- ・ 学内研修に関する事項
- ・ その他FDIに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業内容・方法等に係る研修会
- ・ 授業評価アンケート等の点検・分析

b 実施方法

- ・ 研修会：全国規模のセミナー（講演、分科会等）に参加
- ・ 授業評価アンケート等：委員による報告書の作成

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業評価アンケート等：各学部等が作成した報告書をFD部会で取りまとめ、ホームページで公表

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 研修会を通じて教員が能力の向上を図るとともに、授業評価アンケートの結果をそれぞれ自己点検し、次年度以降の授業内容・方法の改善・向上につなげている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 前期の授業、後期の授業について各1回実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 授業評価アンケート結果を各教員に周知
- ・ 各学部等の授業評価アンケート結果等を取りまとめた報告書を作成し、ホームページで公表

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設初年度は入学定員30名に対し、34名の学生が入学し、定員を充足することができている。

設置の趣旨・目的の達成状況を総合的に評価するのは完成年度以降になると考えるが、現在までのところ問題無く授業を開講しており、計画時の趣旨・目的に沿って教育研究活動が行われていると評価する。

② 自己点検・評価報告書

公立大学法人化したH19年以降、設置者から示された中期目標を達成するための中期計画を策定し、その中期計画を着実に遂行するための各年度の計画を立てて、その結果を業務実績報告書として取りまとめている。

なお、業務実績報告書については福井県が設置する福井県立大学評価委員会の評価を受けることとしている。

各年度の計画に対する業務実績報告は本学ホームページで公表している。

a 公表(予定)時期

本学では平成21年度・平成28年度に公益財団法人大学基準協会が実施する認証評価を受け、共に大学評価を満たしていると認定された。

教育研究の質は担保されているとして毎年の自己点検・評価報告書の作成・公表は行っていない。

しかし、7年に1度の認証評価を受けるために毎年自己評価に関するデータ収集を随時行い、認証評価結果の報告の際に合わせて自己評価書を公表し、認証を得ている。(令和6年3月22日)

また、毎年教授会・研究科委員会の中で教育研究活動の状況についての情報共有を行い、教育研究水準の維持及び向上を図っている。

b 公表方法

令和5年度の認証評価の結果と共に大学ホームページ上に公開。

③ 認証評価を受ける計画

令和5年度に評価機関(一般社団法人 大学教育質保証・評価センター)の評価を受審した。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。



福井県立大学
Fukui Prefectural University

Faculty of
Dinosaur
Paleontology

恐竜
学部

恐竜・地質学科

Department of Dinosaur Paleontology
and Geology

2025年4月開設



勝山キャンパス
イメージ図（福井県提供）

恐竜学部



アドミッションポリシー

- 自然科学に興味を持ち、これに関する研究分野におけるフィールド活動に関心・意欲がある。
- 多様な自然界の現象に対して科学的探究心を持ち、課題解決に向けて自分の意見を表現できる。
- 自然科学を学ぶ上での理科・数学および国際化・情報化社会に対応するための外国語・情報科学の基礎を身につけている。
- 積極的かつ自主的な学習姿勢を持ち、他者との協働作業などを意欲的に取り組むことができる。

01

福井県立恐竜博物館との連携

「恐竜学部」設置に伴い開設予定の勝山キャンパスは恐竜博物館に隣接するため、施設の相互利用などを通じた物的資源の連携や、研究員・学芸員による講義や助言等の人的資源の共有を行い、博物館と一体化した新しい教育・研究システムを目指します。

02

フィールド科学の実践

古生物学や地質学を含む地球科学では、地層や岩石に記録されている情報を現場で読み解き、論理的に考察しなければならないため、フィールドワークにおける現場での地層や岩石、地形の観察を重視します。福井県には、古生代～新生代までの地質遺産が分布しており、身近な自然の中でのフィールドワークが可能です。また、県内だけでなく県外や海外へも視野を広げ、思考力や判断力、情報収集のスキルを学びます。

カリキュラム の特色

03

デジタル技術を活用した 新分野の展開

「恐竜学部」では、従来行われてきた古生物及び地質調査研究を行うだけでなく、最新のデジタル技術を活用し、古生物学・地質学をさらに発展させていきます。大型CT撮影装置をはじめとした機器を使用し、多様な形や大きさの化石や地形をデジタル化し、それらのデータを活用した新しい教育・研究を行います。

学部長予定者あいさつ

地球温暖化による自然災害など現代社会の地球科学諸問題は、地球史において繰り返し起こっている自然現象です。地球の歴史を知るとは、我々の未来を予測することにつながり、人類社会の持続性に関係しています。

福井県は30年以上にわたり恐竜化石発掘・研究を推進し、恐竜時代の環境解明を行っています。さらに水月湖の年縞や東尋坊など日本列島形成史を物語る地質遺産もあり、地球の歴史を知ることができる重要な場所です。このような恵まれた環境を活かし、恐竜を含む古生物や地質学を学ぶことができる「恐竜学部」を設置します。



西 弘嗣 教授 (理学博士)

4年間の学習の流れ

◆コース選択
恐竜・古生物コース
地質・古環境コース

1年次

多様な教養科目と 地球科学の基礎を学ぶ

文理横断的に幅広い知識を身につけ、物事を多面的に考え行動できる能力を身につけます。

【科目例】
脊椎動物の進化、地球史入門、
地球環境学概論、恐竜学、
地球科学フィールド実習Ⅰ、
古生物学概論など

2年次

専門基礎知識と 調査研究手法を修得する

恐竜をはじめとした古生物学や地質学・古環境学に関する専門基礎科目を中心に学び、専門知識と調査研究手法を修得します。

【科目例】
進化生物学、古生物学Ⅰ（脊椎動物）、
地質調査法実習Ⅰ、
ジオパーク学、恐竜学特論、
デジタル古生物学概論など

3年次

より高度な専門知識と 技術を身につける

2つのコースに分かれ、少人数で専門応用科目を学びます。また、実験や実習、フィールドワークを通して課題解決能力や、表現力、思考力、コミュニケーション能力を修得します。

【科目例】
コンピュータグラフィック概論、
古植物学、恐竜発掘実習、
古生物学課題演習、地質学課題演習など

4年次

卒業研究を行い 研究結果を執筆・発表する

これまでに修得した専門知識・技術を基に、担当教員の個別指導を通して、研究計画を実践し、成果を執筆発表する能力を身につけます。

【科目例】
卒業演習Ⅰ・Ⅱ、卒業研究、
博物館実習

Pickup Class

恐竜発掘実習

担当教員 服部 創紀



恐竜化石の発掘方法や、発見される化石の状態は、場所によって大きく異なります。さまざまな発掘現場を知ることで、多様な実践的なスキルを身につけるだけでなく、新たな研究テーマにつながる発見が期待できます。この実習では、タイ王国の発掘現場における調査方法や化石の産出状況を体験するとともに、現地の研究者や学生との交流を通じて、多角的な研究能力および国際的な視野を養います。

恐竜学特論

担当教員 柴田 正輝



恐竜の生物学的側面を理解するため、最近の研究事例を元にして、日々進展する恐竜に関する知見を掘り下げて学修します。恐竜の骨格形態や分類、生態についての研究手法・成果を学び、研究を企画する力を身につけることを目標としています。また、将来研究を深めていくためには、国際的視野を持つ必要があります。そのため、英語の文献を利用し専門用語に慣れるとともに、オンラインで外国人研究者による講義を取り入れ、国際性を養います。

デジタル古生物学概論

担当教員 河部 壮一郎



古生物学研究の新たな可能性を拓くためのデジタル技術を体系的に学ぶための入門授業です。X線CTスキャンなどの3Dスキャニングや、3Dプリンティングといった最先端の技術の原理や応用例を学び、化石データを収集・解析し、その形態や内部構造を研究するための基礎知識と実践力を養います。また、「デジタル古生物学研究法実習」（別科目）を通して実践的なスキルを身につけます。

地質調査法実習Ⅰ

担当教員 安藤 寿男



野外でどんな時代のどんな地層や岩石が露出し、それらがどのように形成されてそこにあるのかを調べるための、地質調査法を学びます。野外の歩き方、露頭観察の仕方、調査結果をフィールドノートに記載して地図に記録し、野外調査データを地質図や地質調査報告にまとめていく、フィールドワークの基礎を修得します。室内作業（準備やまとめ）と野外での調査を組合せた実践的な実習科目です。

想定される進路

卒業後は、古生物学や地質学を中心とした地球科学の専門知識を活かして、以下のような幅広い業種で業務に従事することが想定されます。

- 博物館学芸員、研究者、教員（理科）
- 公務員（土木）
- 地質・土木・建設産業
- 環境アセスメント産業
- ジオパークなど自然科学関連の観光業
- IT関連産業（測量に関する地質系のデジタル技術産業など）
- 大学院進学

取得可能な資格

所定の単位習得（選択制）により、下記の免許・資格が取得できます。

- 高等学校教諭一種免許状（理科）（予定）
- 測量士補
- 学芸員

学部概要

学部・学科名称	恐竜学部 恐竜・地質学科	入学定員	30名（収容定員120名）
開設時期	2025年（令和7年）4月	修業年限	4年
開設場所	1年次（永平寺キャンパス） 2年次～（勝山キャンパス）	取得学位	学士（理学）

キャンパス / アクセス



永平寺キャンパス（1年次）

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1



バス

福井駅西口バスターミナルから
京福バス 大学病院線「県立大学」下車
（所要時間約40分）



車

福井駅前より約20分 または
北陸自動車道 福井北ICより約10分

勝山キャンパス（2年次～）

〒911-0025 福井県勝山市村岡町五本寺 17-15



電車・バス

福井駅東口から、えちぜん鉄道勝山永平寺線
へ乗車後、「勝山駅」にて下車し、バスまたは
タクシーを利用
（所要時間約1時間15分）



車

福井駅前より約50分 または
中部縦貫自動車道 勝山ICより約10分



福井県立大学
Fukui Prefectural University

福井県立大学 経営企画部 恐竜学部開設準備室

〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1-1

TEL 0776-61-6000（代） FAX 0776-61-6011

E-mail: shingakubu@fpu.ac.jp

恐竜学部の入試情報は
こちらからご確認ください。

<https://www.fpu-dinosaur.com/>



2025年（令和7年）4月

恐竜学部（仮称）新設予定

Faculty of Dinosaur Paleontology

恐竜・地質学科（仮称）

オール福井、すべてが学びの場

恐竜学部では、福井県の豊かな自然を活かし、県を代表する恐竜や、地質・古気候学などについて学びます。また、学術研究拠点として、恐竜学や地質学に関する人材育成・研究を進めるとともに、我が国のオンリーワンの学部として、福井県をより一層盛り上げます。

恐竜学部の
最新情報はこちら



恐竜を含む古生物学や地質学の教育・研究を通して
現代社会の諸課題を探索・解決できる人材を養成します

Dinosaur



恐竜の世界を探ろう！

恐竜学部長(予定者) 理学博士 ^{にし ひろし} 西 弘嗣 教授



地球温暖化による自然災害など現代社会の地球科学諸問題は、地球史において繰り返し起こっている自然現象です。地球の歴史を知ることは、我々の未来を予測することにつながり、人類社会の持続性に関係しています。

福井県は、30年以上にわたり恐竜化石発掘・研究を推進し、恐竜時代の環境の解明を行っています。さらに水月湖の年縞や東尋坊など日本列島形成史を物語る地質遺産もあり、地球の歴史を知ることのできる重要な場所です。このような恵まれた環境を活かし、恐竜を含む古生物学や地質学を学ぶことができる「恐竜学部（仮称）」を設置します。

学科／コース
(入学定員 30名)

恐竜学部
Faculty of
Dinosaur Paleontology

恐竜・地質学科
Department of
Dinosaur Paleontology and Geology

恐竜・古生物コース
地質・古環境コース

恐竜学部（仮称）新設予定

カリキュラム＜教育課程＞の特色

「恐竜学部（仮称）」では、地球科学の基礎のほか、古生物学や地質学を中心に学びます。

01 福井県立恐竜博物館との連携

「恐竜学部（仮称）」設置に伴い開設予定の勝山キャンパス（仮称）は恐竜博物館に隣接するため、施設の相互利用などを通じた物的資源の連携や研究員・学芸員による講義や助言等の人的資源の共有を行って、博物館と一体化した新しい教育・研究システムを目指します。



02 フィールド科学の実践

古生物学や地質学を含む地球科学では、地層や岩石に記録されている情報を現場で読み解き、論理的に考察しなければならないため、フィールドワークにおける現場での地層や岩石、地形の観察を重視します。福井県には、古生代～新生代までの地質遺産が分布しており、身近な自然の中でのフィールドワークが可能です。また、県内だけでなく県外へも視野を広げ、思考力や判断力、情報収集のスキルを学びます。



03 デジタル技術を活用した新分野の展開

「恐竜学部（仮称）」では、従来行われてきた古生物および地質学調査研究を行うだけではなく、最新のデジタル技術を活用し、古生物・地質学をさらに発展させていきます。大型CT撮影装置をはじめとした機器を使用して、多様な形や大きさの化石や地形をデジタル化し、それらのデータを活用した新しい教育・研究を行います。



想定される進路

卒業後は、古生物や地質学を中心とした地球科学の専門知識を活かして、以下のような幅広い業種で業務に従事することが想定されます。

- 博物館学芸員、研究者、教員（理科）
- 公務員（土木）
- 地質・土木・建設産業
- 環境アセスメント産業
- ジオパークなど自然科学関連の観光業
- IT関連産業（測量に関する地質系のデジタル技術産業など）
- 大学院進学



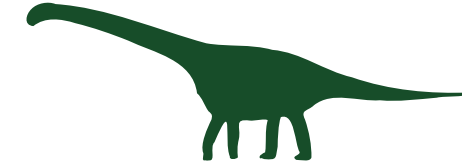
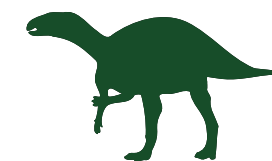
取得可能な資格

所定の単位修得（選択制）により、下記の免許・資格が取得できます。

- 高等学校教諭一種免許状（理科）
- 測量士補
- 学芸員



上記は設置認可申請中の内容のため変更となる場合があります。



恐竜・古生物コース



教育研究紹介



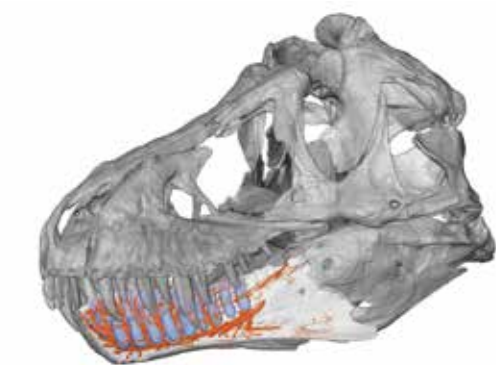
古生物の奥深い謎に挑む、恐竜研究の興奮 世界を見据える知識の源泉へ

恐竜研究は、ここ数十年で飛躍的に進歩し、新種や恐竜像が日々更新されています。それらを理解するためには、古生物学の幅広い知識が必要です。そのため、1年次は、「古生物学概論」や「地層学」などで生命の進化や恐竜について幅広い基礎を学び、2年次では、発展的な古生物学の授業に加え、研究への入り口となる発掘や化石クリーニング実習を行います。また古生物学の研究はボーダレスです。将来、研究を深めていくには、国際的視野を持ち積極的に海外へ出る必要があります。そのため、外国人研究者による授業を取り入れ、海外における発掘調査や現地での研究者や学生との交流も予定しています。このように4年間を通して、体系的知識を身につけ恐竜・古生物を理解し、多様な実習から協働性・国際性を養います。

恐竜を通じて世界へ目を向けてみませんか？

恐竜の秘密を解き明かすデジタル技術の革新 化石の微細構造を可視化

恐竜の研究は、単なる発掘作業だけで完結するわけではありません。化石を発見することは、その始まりに過ぎません。発掘された化石から、恐竜たちの生態に関する興味深い情報を読み解くことが、彼らの生き様を解き明かす重要な一歩なのです。特に、その化石に残された解剖学的特徴を綿密に調査し理解することは、動物としての恐竜像を明らかにする上で不可欠です。この解剖学的特徴を調査するために、欠かせないのが最新のデジタル技術です。近年、CTスキャンやレーザースキャンなどのデジタル技術が発展し、古生物研究に革命をもたらしました。このようなデジタル技術によって、化石の内部や外部の微細な構造を可視化し、詳細に分析することができます。恐竜・古生物コースでは、デジタル技術の基礎から始め、実際の研究に役立つスキルや知識を習得します。ここで得られるものは、古生物の研究に役立つだけでなく、様々な他の分野でも活用することのできる経験にもなります。



地質・古環境コース



教育研究紹介

化石が含まれる「地層」のしくみとは… 一緒に外に飛び出し、調べよう！

今生きている生物はどうやって化石になるのだろう…考えたことがありますか？化石に残る生物は生物全体の一部であり、私たちが目にして掘り出す化石はそのまた一部です。化石を含む地層は、長い時間をかけ複雑な過程を経て、私たちの目の前に現れます。地質・古環境コースでは地層中の「限定された過去の記録」を可能な限り多く引き出すため、野外で実際の地層を観察し、情報を得る手法を丁寧に手厚く学びます。

1年次の「地球科学フィールド実習I」では福井県内、2年次の「地球科学フィールド実習II」では県外の地層の野外観察・調査をドローンや3D測量機も駆使して行い、地質調査の実践力（観察する力・考える力）を養います。化石生物の正体、大昔の環境、時代推定の手がかり…これら未知の情報を含んでいる「地層」をどう調べるかを学ぶことはワクワクするほど楽しく、またその経験を実社会へ還元する力も身に付きます。



恐竜時代から現在までの地球環境を 最先端技術で料理する

恐竜や大型生物の化石だけじゃない、地層にはいろんなものが含まれています。近年の分析機器・観察技術の著しい進歩は、微化石や有機分子化石、鉱物を調べることで、地質時代に正確な時間目盛りを入れることができるようになり、30年前には考えられなかったほど具体的な古環境がわかるようになってきました。

3年次の「地球化学実験」では最先端の分析機器であるIR-MASSによる同位体比分析、バイオマーカー分析などを通して、過去の地球環境を生々しく復元します。1本の細いボーリングコア試料からでも、100万年前の海水温や1億年前の陸上の植生が復元できるなんてすごいと思いませんか。このような先端機器を用いた分析技術の習得は、今後の社会でさらに重宝されていく能力です。



上記は設置認可申請中の内容のため変更となる場合があります。

令和7年度（2025年度）

入学者選拔要項 (恐竜学部)



福井県立大学

Fukui Prefectural University

目 次

◎入学者選抜日程の概要	1
◎入学者受入方針	2
◎選 抜 要 項	
I 募 集 人 員	5
II 一 般 選 抜	6
III 学校推薦型選抜	11
IV 総合型選抜	13
V 帰国生徒特別選抜	15
VI 中国引揚者等生徒特別選抜	17
VII 社会人特別選抜	19
VIII 私費外国人留学生特別選抜	21
IX 個別の入学資格審査	23
X 障害を有する入学志願者等との事前相談	23
X I 入試過去問題の利用について	23
X II 大学案内・学生募集要項等の請求方法	23
X III 個人情報取り扱いについて	25
X IV 不測の事態が発生した場合の諸連絡について	25

入学者選抜日程の概要

選抜の区分	募集要項 発表予定	出願期間	学力検査等	合格発表	入学手続
一般選抜 (前期日程)	11月上旬※	令和7年 1月27日(月) ～2月5日(水)	令和7年 2月25日(火)	令和7年 3月6日(木)	令和7年 3月7日(金) ～3月15日(土)
一般選抜 (後期日程)			令和7年 3月12日(水)	令和7年 3月21日(金)	令和7年 3月24日(月) ～3月27日(木)
学校推薦型 選抜	9月中旬※	令和6年 11月1日(金) ～11月11日(月)	令和6年 11月23日(土・ 祝)	令和6年 12月2日(月)	令和6年 12月3日(火) ～12月10日(火)
総合型選抜	9月中旬※	令和6年 10月1日(火) ～10月8日(火)	令和6年 11月24日(日)	令和6年 12月2日(月)	令和6年 12月3日(火) ～12月10日(火)
特別選抜 (社会人、帰 国生徒、中国 引揚者等生 徒)	9月中旬	【国内から出願の場合】 令和6年 11月1日(金) ～11月11日(月) 【海外から出願の場合】 令和6年 10月17日(木) ～11月1日(金)	令和6年 11月25日(月)	令和6年 12月2日(月)	令和6年 12月3日(火) ～12月10日(火)
特別選抜 (私費外国人 留学生)				令和7年 1月8日(水)	令和7年 1月9日(木) ～1月24日(金)

※ 一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜については、インターネット出願となるため、学生募集要項の冊子での配布は行いません。本学ホームページ (<https://www.fpu.ac.jp/>) から閲覧またはダウンロードしてください。

入 学 者 受 入 方 針

【大学の理念・目的】

福井県立大学は、時代の発展に即応した学術文化の高度化を推進する拠点として、真理探究の精神、広い視野と豊かな創造力、高度で専門的な知識・技術を有する有為な人材を養成するとともに、先進的な科学の研究および技術の開発を行い、学術情報を地域社会へ開放することにより、福井県はもとより、わが国の産業と文化の発展に寄与することを目的とし、もって人類の永続的福祉の向上に貢献することを使命としています。この使命を達成するために、次の三つの基本理念を掲げています。

- ① 新しい時代にふさわしい魅力ある大学
- ② 特色ある教育・研究を行う個性ある大学
- ③ 地域社会と連携した開かれた大学

【教育目標】

- ① 学問への関心を引き出すとともに、全人的教養を身につけ、自立した個人として成長できる能力を養う。
- ② 科学の飛躍的発展に対応できる高度な知識や技術とともに、専門職にふさわしい態度を身につけ、社会のニーズに対応できる能力を養う。
- ③ 少人数教育の特色を活かし、思考力・判断力・表現力・創造力・コミュニケーション力などを併せ持った総合的人間力を身につけ、社会・個人との豊かな関わりを持つことができる能力を養う。
- ④ 国際化、情報化、少子高齢化などの時代の変化を踏まえ、生命と環境、経済・社会、医療福祉の問題など新たな課題に取り組む能力を養う。
- ⑤ 自ら学問を探究する態度を身につけ、個性ある研究が行える能力を養う。
- ⑥ 地域社会との連携を深め、地域住民と協働した社会づくりに貢献できる態度を養う。

【理念・目的】

恐竜学部は、福井県で蓄積された恐竜研究をさらに発展させ、地質学を含めた地球科学分野の教育・研究活動を通じ、現代社会の地球科学諸問題に対応するため、幅広い教養と地球科学に関する知識・技術を持ち、多様な局面において協働的および自主的に課題を探究・解決できる人材を育成するとともに、学術情報を地域社会へ積極的に開放することを目的とする。

【教育目標】

本学部では、教育目的を達成するために身に付けるべき能力を教育目標として、次のように定めます。

- ① 自然科学への幅広い関心を持ち、文理横断的な幅広い教養や視野を体得する。
- ② 地球科学分野の中でも特に古生物学や地質学、古環境学、デジタル科学等の専門知識と、現場や実践を重視した調査研究方法を修得し、社会のニーズや動向に応用できる能力を身につける。
- ③ 少人数教育の特色を活かしたプレゼンテーションやディスカッション、フィールドワークを通して、思考力や表現力、コミュニケーション力等を併せ持ち、他者と協働することができる能力を身につける。
- ④ 国際化、情報化が進む現代社会に対応し、国際的な視野を持ち、デジタル技術を駆使しながら、地球科学諸問題の解決に取り組める能力を身につける。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

教育目的を達成するため、本学部は次のような学生の入学を求めています。

- ① 自然科学に興味を持ち、これに関する研究分野におけるフィールド活動に関心・意欲がある。
- ② 多様な自然界の現象に対して科学的探究心を持ち、課題解決に向けて自分の意見を表現できる。
- ③ 自然科学を学ぶ上での理科・数学および国際化・情報化社会に対応するための外国語・情報科学の基礎を身につけている。
- ④ 積極的かつ自主的な学習姿勢を持ち、他者との協働作業などを意欲的に取り組むことができる。

【入学者選抜の基本方針】

恐竜学部では、アドミッション・ポリシーで示した能力を考査して入学者を選抜するために、大学入学共通テストと個別学力検査を組み合わせた一般選抜のほか、学校推薦型選抜、総合型選抜を

実施します。

それぞれの選抜方法において、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持ち、多様な人々と協働して学ぶ態度」を判断していきます。

<一般選抜>

入学者の選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等の成績ならびに調査書の内容を総合して行います。

大学入学共通テストで課している教科・科目について、高等学校での履修内容を十分に理解できているかを評価します。個別学力検査では、専門科目の学習に必要な知識、思考力、判断力、表現力を評価します。また、調査書により主体性、協働性を評価します。

<学校推薦型選抜>

入学者の選抜は、小論文および面接ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。

学部の理念や教育目標に沿った小論文を課し、専門分野の学習に必要な知識、思考力、判断力、表現力を評価します。面接試験において、目的意識や意欲、本学志望の動機、高等学校や地域などでの主体的・協働的な活動を総合的に評価します。

<総合型選抜>

入学者の選抜は、プレゼンテーションおよび面接ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。

プレゼンテーションおよび面接では、知識、思考力、判断力、表現力、協働性ならびにコミュニケーション能力を評価するために、科学的かつ論理的な考え方、大学での学業への意欲と大学で学んだことを将来どのように活用して社会貢献したいかなどを確認します。

I 募 集 人 員

学 部	学 科	入学定員	募 集 人 員							
			一 般 選 抜		学校 推薦型 選抜	総合型 選抜	特 別 選 抜			
			前期日程	後期日程			帰国生徒	中国引揚者等生徒	社会人	私費外国人留学生
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	3 0 名	1 5 名	3 名	6 名	6 名	若干名	若干名	若干名	若干名

- (注) 1 一般選抜の「前期日程」および「後期日程」は、分離分割方式の区分によります。
- 2 特別選抜の「若干名」は、一般選抜の前期日程の募集人員に含まれます。
- 3 恐竜学部恐竜・地質学科の総合型選抜募集人員には、地域枠（2名）を含みます。なお、地域枠による合格者が2名を下回る場合があります。
- (内容と出願資格は13ページ参照)
- 4 学校推薦型選抜、総合型選抜の選考結果によっては、合格者が募集人員に満たない場合があります。入学手続き者が募集人員に満たない場合は、一般選抜前期日程の募集人員に不足した人数を加えます。

Ⅱ 一 般 選 抜

1 出 願 資 格

令和7年度大学入学共通テストのうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、以下の各号のいずれかに該当するもの

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または令和7年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により「個別の入学資格審査」を受けて出願する者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、入学試験本部（入試企画室）までお問い合わせください。

2 選 抜 方 法

入学者の選抜には令和7年度大学入学共通テストの成績を利用します。

ただし、次の①または②に該当する場合はいずれも失格となります。

- ① 大学入学共通テストおよび個別学力検査において、本学が指定する教科・科目を1つでも受験しなかった場合
- ② 大学入学共通テストの外国語において英語を選択した者がリスニング試験を受験しなかった場合

(1) 2段階選抜の実施（後期日程）

恐竜学部は、後期日程において志願者が30名を超えた場合に、大学入学共通テストの利用教科・科目の配点による成績の総得点により、第1段階選抜を実施することがあります（教科・科目および配点は、7・8・9・10ページ参照）。その場合は、第1段階選抜合格者に対してのみ個別学力検査等を実施します。

第2段階選抜は、大学入学共通テストおよび個別学力検査等（面接）の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。

(2) 試験科目および試験時間

- ・ 大学入学共通テストの試験科目および個別学力検査の試験時間は別表1のとおりとします。
- ・ 旧教育課程履修者に対して本学が利用する大学入学共通テストの「経過措置科目」は別表2のとおりとします。

別表 1

区分	学部	学科	大学入学共通テスト利用教科・科目等		個別学力検査等		
			教科	科目等	教科	科目等	試験時間
前期日程	恐竜学部	恐竜・地質学科	【必須】 国 数 理 外 情	「国語」 ① 「数Ⅰ, 数A」および ② 「数Ⅱ, 数B, 数C」 (2科目) 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1科目 「情報Ⅰ」 〔5教科7科目〕	【必須】 理 英	「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎・地学」から1科目 「英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ」 〔2教科〕	各教科 90分

区分	学部	学科	大学入学共通テスト利用教科・科目等		個別学力検査等		
			教科	科目等	教科	科目等	試験時間
後期日程	恐竜学部	恐竜・地質学科	【必須】 国 数 理 外 情	「国語」 ① 「数Ⅰ, 数A」および ② 「数Ⅱ, 数B, 数C」 (2科目) 「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」, 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」から1科目 「情報Ⅰ」 〔5教科6科目〕	【必須】 その他	「面接」 〔面接〕	

別表 2

注 本学が利用する「経過措置科目」は下表の着色した科目です。

区分	学部	学科	大学入学共通テスト利用教科・科目等	
			教科	科目等
前期日程	恐竜学部	恐竜・地質学科	【必須】	
			国	経過措置科目なし
			数	『旧数Ⅰ・旧数A』必須と『旧数Ⅱ・旧数B』，『旧簿』，『旧情報関係基礎』から1科目
			理	経過措置科目なし
			外	経過措置科目なし
			情	『旧情報』
〔5教科7科目〕				

区 分	学 部	学 科	大学入学共通テスト利用教科・科目等	
			教科	科目等
後 期 日 程	恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	【必須】 国	経過措置科目なし
			数	『旧数Ⅰ・旧数A』必須と 『旧数Ⅱ・旧数B』，『旧簿』，『旧情報 関係基礎』から1科目
			理	経過措置科目なし
			外	経過措置科目なし
			情	『旧情報』
〔5教科6科目〕				

(3) 注意事項

① 大学入学共通テストの利用教科・科目等について

- ・ 後期日程における理科について2科目を受験した場合は、それぞれの第1解答科目を採用します。
- ・ 旧教育課程（平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）を履修した志願者に対する経過措置は、以下のとおりとします。

『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』を選択できる者は、高等学校においてこれらの科目を履修した者および専修学校高等課程の修了者に限ります。

② 個別学力検査等について

- ・ 旧教育課程（平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）を履修した志願者に対しては、出題する教科・科目の問題の内容によって配慮を行います。

(4) 得点調整について

個別学力検査における次の選択教科・科目間で、15点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。

- ・ 生物資源学部生物資源学科、海洋生物資源学部、恐竜学部の前期日程における理科の「化学」、「生物」、「地学」の間

3 出願期間、選抜期日および合格発表日

区分	出願期間	選抜期日	合格発表日
前期日程	令和7年1月27日（月）	令和7年2月25日（火）	令和7年3月6日（木）
後期日程	～2月5日（水）	令和7年3月12日（水）	令和7年3月21日（金）

4 学力検査等の配点

前期日程

	国語	地理歴史, 公民	数 学	理 科	外国語	情 報	合 計
大学入学共通テスト	50		50	50	50	50	250
個別学力検査				100	100		200

(注) 1 大学入学共通テストの外国語

- ・ 英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に0.35を乗じた値とリスニング試験の得点に0.15を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点に0.5を乗じた値を利用します。
- ・ 英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に0.25を乗じた値を利用します。

2 個別学力検査の外国語は英語に限ります。

後期日程

	国 語	地理歴史, 公民	数 学	理 科	外国語	情 報	面 接	合 計
大学入学共通テスト	100		100	100	100	100		500
個別学力検査							100	100

(注) 1 大学入学共通テストで、理科を2科目受験した場合は、第1解答科目を採用します。

2 大学入学共通テストの外国語で英語を選択した場合は、リスニングを含み、リーディング試験の得点に0.7を乗じた値とリスニング試験の得点に0.3を乗じた値の合計を利用します。ただし、リスニングを免除されている場合には、リーディング試験の得点を利用します。

3 大学入学共通テストの外国語で英語以外を選択した場合は、筆記試験の得点に0.5を乗じた値を利用します。

4 面接の配点には出願書類の評価を含みます。

5 第2志望について

恐竜学部においては、第1志望のみとします。第2志望は認められません。

6 そ の 他

入学手続き者が入学定員に満たない場合の欠員補充の方法は、追加合格によります。

Ⅲ 学校推薦型選抜

1 出 願 資 格

以下の①から④までのすべてに該当する者

(大学入学共通テストを受ける必要はありません。また、本学の総合型選抜との併願はできません。)

① 人物、学業成績ともに優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる者

② 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

③ 高等学校を令和7年3月卒業見込みの者

(注) 福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和6年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

④ 調査書の英語、数学、理科、情報の学習成績の状況の平均が4.0以上の者

(注) 理科は、高等学校学習指導要領(平成30年文部科学省告示第68号)の「物理」「化学」「生物」「地学」「理数物理」「理数化学」「理数生物」「理数地学」のうち1科目の評定または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「科学と人間生活」のうち2科目の評定の平均を用いて算出します。

(上記記載の各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。)

2 推 薦 人 数

各高等学校から推薦できる人数は、次の表に掲げる推薦人数の範囲内とします。

高等学校の区分	学 部	学 科	推 薦 人 数 (注2)
① 福井県内の高等学校	恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	2名
② 福井県外の高等学校 (注1)	恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	1名

(注1) 福井県外の高等学校から推薦できる者は、本人または保護者が令和6年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。推薦できる人数は、各学校で1名です。

(注2) 出身学科を指定する学校推薦型選抜は実施しません。

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。

(注) 1 小論文は、800字程度(90分)

2 面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。

4 出願期間、選抜期日および合格発表日

出 願 期 間	令和6年11月 1日（金）～11月11日（月）
選 抜 期 日	令和6年11月23日（土・祝）
合 格 発 表 日	令和6年12月2日（月）

5 調査書の記入について

本学ならびに学部・学科の入学受入方針に照らし、高等学校長は、特に推薦できる生徒については、その旨を調査書の「備考」欄に記入してください。

6 自己推薦書について

「自己推薦書」には、出願者本人が、自己推薦文、校内・校外等での活動、取得資格を記入してください。

7 第2志望について

出願においては、第1志望のみとします。第2志望は認められません。

IV 総合型選抜

1 出 願 資 格

合格した場合には必ず入学することを確約できる者であり、以下の①および②のいずれにも該当する者（大学入学共通テストを受ける必要はありません。また、本学の学校推薦型選抜との併願はできません。）

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または令和7年3月卒業見込みの者
- ② 地層から古生物、さらに古環境にまで及ぶ広範な対象を取り扱う科学分野の勉学に強い意欲を持ち、地球科学にかかわる知識と技術をもとに、地域社会、日本の人々のために将来働く意欲と希望を持つ者

※恐竜学部恐竜・地質学科に地域枠を設定します。

地域枠とは、恐竜を含む古生物学や地質学などの自然科学に強い関心があり、福井県内での就業や起業、地域経済の活性化に貢献しようとする意欲を持つ学生の確保を目的として、総合型選抜において福井県内の志願者を合格させる人数枠です。恐竜学部恐竜・地質学科の地域枠に出願できるのは、福井県内の者です。地域枠への出願者については、一般枠（地域枠以外をいう）を併願したものとして取り扱います。

（注）福井県内の者とは、本人または保護者が令和6年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

2 選 抜 方 法

志願者数が募集人員に対して、定めた倍率を超えた場合に、第1段階選抜を実施することがあります。

① 第1段階選抜

恐竜・地質学科は、志願者数が募集人員の5倍を超えた場合に、以下の出願書類により熱意と適性を評価し、第1段階選抜を実施することがあります。

- ・自己推薦書（本学様式）
- ・調査書（学習成績の状況等により本学科への適性を判断するため使用）

② 第2段階選抜

プレゼンテーションおよび面接の成績ならびに自己推薦書および調査書の内容を総合して行います。

3 出 願 期 間、選 抜 期 日 お よ び 合 格 発 表 日

出願期間		令和6年10月 1日（火）～10月 8日（火）
第1段階選抜	選抜期日	書類選考
	合格発表日	令和6年10月28日（月）
第2段階選抜	選抜期日	令和6年11月24日（日）
	合格発表日	令和6年12月 2日（月）

4 自己推薦書について

「自己推薦書」には、出願者本人が、自己アピール、志望動機、校内・校外等での活動、取得資格等を記入してください。

※詳細は学生募集要項に記載します。

5 第2志望について

出願においては、第1志望のみとします。第2志望は認められません。

V 帰国生徒特別選抜

1 出 願 資 格

日本国籍を有する者、日本国の永住許可を得ている者、その他これらに準ずる者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けているもののうち、次の（１）および（２）のいずれにも該当するもの

（１）以下の各号のいずれかに該当する者

- ① 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め２学年以上継続して学校教育を受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を令和５年４月１日から令和７年３月３１日までに卒業（修了）した者または卒業（修了）見込みの者
- ② 外国の教育制度に基づく教育機関において、２年以上継続して学校教育を受け、１２年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校の第３学年もしくは中等教育学校の第６学年に編入学を認められた者で、令和７年３月卒業見込みのもの
- ③ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を令和５年または令和６年に授与された者
- ④ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を令和５年または令和６年に授与された者
- ⑤ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を令和５年または令和６年に授与された者

（注）１ ①および②において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

２ 大学入学共通テストを受ける必要はありません。

（２）下表に定める英語の資格・検定試験のいずれかを令和４年１２月以降に受験し、公式な成績証明書を出願資格とする英語の資格・検定試験

学 部	学 科	受験を出願資格とする英語の資格・検定試験
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	・ TOEFL (PBT、iBT) ・ TOEIC (Listening&Reading Test) ・ IELTS (アカデミック・モジュール) ・ 英検 ※ TOEFL ITP (団体受験) テスト、TOEIC IP (団体受験) テスト、TOEIC SW テスト、TOEIC Speaking テスト、TOEIC Bridge テスト、IELTS (団体受験)、IELTS (ジェネラル・トレーニング・モジュール) のスコアは認められません。

2 選 抜 方 法

学 部	学 科	選抜方法
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。 (注) 1 小論文は、800字程度(90分) 2 面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。 3 英語の資格・検定試験の内容は、出願書類の評価に含めません。

3 出 願 期 間、選 抜 期 日 お よ び 合 格 発 表 日

出 願 期 間	令和6年11月 1日(金)～11月11日(月)
選 抜 期 日	令和6年11月25日(月)
合 格 発 表 日	令和6年12月 2日(月)

4 第 2 志 望 に つ い て

恐竜学部においては、第1志望のみとします。第2志望は認められません。

VI 中国引揚者等生徒特別選抜

1 出 願 資 格

次の（１）および（２）のいずれにも該当する者

- （１）日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であつて、保護者が引揚者であり、日本国へ引揚げ後、原則として９年以下であるもののうち、学校教育法第９０条の規定により大学の入学資格を有するものまたは令和７年３月３１日までに入学資格を有することとなる見込みのもの

（注）１ 中国引揚者等生徒とは、保護者（父と母、または父母のいずれか、あるいは祖父母等）が引揚者である者をいいます。この引揚者とは、終戦前（昭和２０年９月２日以前をいいます。）から引き続き外国に居住していた者（当該者を親として終戦後外国において出生した者を含みます。）で、終戦後はじめて永住の目的をもって帰国したものをいいます。

２ 大学入学共通テストを受ける必要はありません。

- （２）下表に定める英語の資格・検定試験のいずれかを令和４年１２月以降に受験し、公式な成績証明書を提出できる者

学 部	学 科	受験を出願資格とする英語の資格・検定試験
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	・ TOEFL (PBT、iBT) ・ TOEIC (Listening&Reading Test) ・ IELTS (アカデミック・モジュール) ・ 英検 ※ TOEFL ITP (団体受験) テスト、TOEIC IP (団体受験) テスト、TOEIC SW テスト、TOEIC Speaking テスト、TOEIC Bridge テスト、IELTS (団体受験)、IELTS (ジェネラル・トレーニング・モジュール) のスコアは認められません。

2 選 抜 方 法

学 部	学 科	選抜方法
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。 (注) １ 小論文は、８００字程度（９０分） ２ 面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。 ３ 英語の資格・検定試験の内容は、出願書類の評価に含めません。

3 出願期間、選抜期日および合格発表日

出 願 期 間	令和6年11月 1日（金）～11月11日（月）
選 抜 期 日	令和6年11月25日（月）
合 格 発 表 日	令和6年12月 2日（月）

4 第2志望について

恐竜学部においては、第1志望のみとします。第2志望は認められません。

Ⅶ 社会人特別選抜

1 出 願 資 格

次の（１）および（２）のいずれにも該当する者

（１）令和７年４月１日現在において満２３歳に達しており、社会人の経歴を３年以上有する者で、以下の各号のいずれかに該当するもの。この場合、定時制、夜間、通信制以外の学校の在学期間は社会人の経歴の期間に含めません。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- ② 通常の課程による１２年の学校教育を修了した者
- ③ 学校教育法施行規則第１５０条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

（注） １ 大学入学共通テストを受ける必要はありません。

２ ③において、学校教育法施行規則第１５０条第７号の規定により「個別の入学資格審査」を受けて出願する者は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳細については、入学試験本部（入試企画室）までお問い合わせください。

（２）下表に定める英語の資格・検定試験のいずれかを令和４年１２月以降に受験し、公式な成績証明書を提出できる者

学 部	学 科	受験を出願資格とする英語の資格・検定試験
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	・ TOEFL (PBT、iBT) ・ TOEIC (Listening&Reading Test) ・ IELTS (アカデミック・モジュール) ・ 英検 ※ TOEFL ITP (団体受験) テスト、TOEIC IP (団体受験) テスト、TOEIC SW テスト、TOEIC Speaking テスト、TOEIC Bridge テスト、IELTS (団体受験)、IELTS (ジェネラル・トレーニング・モジュール) のスコアは認められません。

2 選 抜 方 法

学 部	学 科	選抜方法
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。 （注） １ 小論文は、８００字程度（９０分） ２ 面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。 ３ 英語の資格・検定試験の内容は、出願書類の評価に含めません。

3 出願期間、選抜期日および合格発表日

出 願 期 間	令和6年11月 1日（金）～11月11日（月）
選 抜 期 日	令和6年11月25日（月）
合 格 発 表 日	令和6年12月 2日（月）

4 第2志望について

恐竜学部においては、第1志望のみとします。第2志望は認められません。

Ⅷ 私費外国人留学生特別選抜

1 出 願 資 格

外国の国籍を有し、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2023年度日本留学試験（第2回）」または「2024年度日本留学試験（第1回）」を受験した者または「2024年度日本留学試験（第2回）」に出願して受理された者（2023年度 第2回、2024年度 第1回・第2回のいずれの試験も出題言語は日本語に限る。）で、次の（1）および（2）のいずれにも該当するもの

なお、本学が日本留学試験の成績を利用する科目は、下表のとおりです。（○は必須、△は選択を表します。）

学部名	学科名	日本語	総合科目	数 学	理 科	備 考
恐 竜 学 部	恐竜・地質学科	○	—	○ (※1)	○ (※2)	

※1 数学……「コース1」、「コース2」のいずれでも可

※2 理科……3科目（「物理」、「化学」、「生物」）から2科目自由選択

（1）以下の各号のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者もしくは令和7年3月修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- ⑤ ①、②、③または④の者と同等の出願資格があると本学において認めた者

（注）大学入学共通テストを受ける必要はありません。

（2）下表に定める英語の資格・検定試験のいずれかを令和4年12月以降に受験し、公式な成績証明書を出願資格とする英語の資格・検定試験

学 部	学 科	受験を出願資格とする英語の資格・検定試験
恐 竜 学 部	恐竜・地質学科	・ TOEFL (PBT、iBT) ・ TOEIC (Listening&Reading Test) ・ IELTS (アカデミック・モジュール) ・ 英検 ※ TOEFL ITP (団体受験) テスト、TOEIC IP (団体受験) テスト、TOEIC SW テスト、TOEIC Speaking テスト、TOEIC Bridge テスト、IELTS (団体受験)、IELTS (ジェネラル・トレーニング・モジュール) のスコアは認められません。

2 選 抜 方 法

学部	学科	選抜方法
恐 竜 学 部	恐 竜 ・ 地 質 学 科	入学者の選抜は、面接および日本留学試験の成績ならびに出願書類の内容を総合して行います。 (注) 1 面接はオンラインで行います。※ 2 面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。 3 英語の資格・検定試験の内容は、出願書類の評価に含まれます。

※ オンラインでの面接がありますので、インターネット環境を整えてください。自宅でインターネット環境を整備することが難しい場合は、在籍する学校に相談してください。

3 出 願 期 間、選 抜 期 日 お よ び 合 格 発 表 日

出 願 期 間	【国内から出願の場合】 令和6年11月 1日（金）～11月11日（月） 【海外から出願の場合】 令和6年10月17日（木）～11月 1日（金）
選 抜 期 日	令和6年11月25日（月）
合 格 発 表 日	令和7年 1月 8日（水）

4 第 2 志 望 に つ い て

恐竜学部においては、第1志望のみとします。第2志望は認められません。

Ⅸ 個別の入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、「個別の入学資格審査」を受けようとする者は、所定の申請書に関係書類を添付して令和6年9月5日（木）から令和6年9月13日（金）【必着】までに申請してください。

詳細については、入学試験本部（入試企画室）までお問い合わせください。

なお、入学資格審査の内容については、福井県立大学ホームページ（<https://www.fpu.ac.jp>）で確認してください。

X 障害を有する入学志願者等との事前相談

障害を有する等、受験上および入学後に修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願の前にあらかじめ入学試験本部（入試企画室）まで連絡し、相談してください。相談の時期や方法については、後日公表する学生募集要項を参照してください。

相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、十分な配慮による受験ができない場合もありますので、なるべく早く相談してください。

なお、一般選抜により本学への入学を志願する受験者のうち、体幹および両上下肢の機能障害が著しい方で、大学入学共通テストで代筆解答を希望する方は、共通テスト出願以前のできるだけ早い時期に入学試験本部（入試企画室）まで連絡し、事前相談をしてください。

XⅠ 入試過去問題の利用について

- (1) 本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、本学のアドミッション・ポリシーを実現するために必要と認める範囲で、「入試過去問題活用宣言」参加大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- (2) 入試過去問題を使用して出題する場合は、一部を改変することもあります。また、必ず使用するとは限りません。
- (3) 入試過去問題を使用して出題した場合は、入試終了後に受験者に分かる形で使用問題を公表します。
- (4) 「入試過去問題活用宣言」の詳細および参加大学の一覧については、「<https://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。

XⅡ 大学案内・学生募集要項等の請求方法

1 発表時期

- (1) 一般選抜学生募集要項…………… 11月上旬頃
- (2) 学校推薦型選抜学生募集要項…………… 9月中旬頃
- (3) 総合型選抜学生募集要項…………… 9月中旬頃
- (4) 特別選抜学生募集要項（帰国生徒、中国引揚者等生徒、社会人、私費外国人留学生）
…………… 9月中旬頃

※ 特別選抜学生募集要項以外は、紙媒体での配布はありません。本学ホームページから閲覧また

はダウンロードしてください。

2 学生募集要項の請求方法

インターネット出願の導入により、入学者選抜要項（この資料）、一般選抜学生募集要項、学校推薦型選抜学生募集要項、総合型選抜学生募集要項について、冊子体での配布は行いません。公表したもののから順次、本学ホームページ（<https://www.fpu.ac.jp/>）「入試情報」内に掲載しますので、各自で閲覧またはダウンロードしてください。

大学案内、特別選抜学生募集要項の請求方法は次によります。

（１）本学へ請求する場合

① 郵送による方法

封筒の表に「大学案内請求」または「特別選抜学生募集要項請求」と朱書し、返信用封筒（角型２号封筒に返送先の住所・氏名を明記し、送料に相当する切手を貼付したもの。）を入学試験本部（入試企画室）まで送付してください。

送料は本学ホームページ（<https://www.fpu.ac.jp/>）を確認ください。または、入学試験本部（入試企画室）にお問い合わせください。

② ファックスによる方法

「大学案内請求」または「特別選抜学生募集要項請求」と記載し、受取人の郵便番号、電話番号、住所および氏名を明記し、申し込んでください。本学からは、受取人着払いで送付します。

③ 来学による請求

大学案内、特別選抜学生募集要項は直接来学して受領できます。入学試験本部（入試企画室）にお問い合わせください。

（注）（１）の①、②の方法での請求については、到着まで１週間程度の日数を要しますので、余裕を持って請求願います。

（２）大学のホームページから請求する場合【大学案内のみ】

本学のホームページから直接、テレメールまたはモバっちょによる資料請求ができます。

詳しくは、福井県立大学ホームページ（<https://www.fpu.ac.jp>）トップページの「資料請求」をご覧ください。請求方法の詳細は、各サイト内の指示に従ってください。

① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。



インターネット	
https://telemail.jp	
バーコードを読み取り、アクセスした場合は 資料請求番号の入力は不要。	

② 資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号
大学案内	5 6 3 2 0 2

③ ガイドンスに従って登録してください。

（注意）

- ・ 通常、発送日から3～5日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、郵便事情によってはその限りではありません。
- ・ 料金は、届いた資料に同封されている料金支払い用紙にもとづき支払ってください。支払いに際しては、手数料が別途必要になります。

テレメールによる請求方法についての問い合わせ先

テレメール カスタマーセンター I P 電話 050-8601-0102 （9：30～18：00）
--

XⅢ 個人情報の取扱いについて

本学が保有する個人情報については、以下のとおり取扱いますので、予めご了承ください。

- 1 個人情報は、「個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）」および「公立大学法人福井県立大学個人情報保護取扱規程」に基づき、適正に処理します。法令等の規定に基づくときなどの例外を除き、原則として、第三者に提供することはありません。
- 2 入学資料請求に当たってお知らせいただいた氏名、住所およびその他の個人情報については、資料の送付および統計資料作成等の業務を行うために利用します。
- 3 出願に当たってお知らせいただく個人情報の取扱いについては、各選抜の学生募集要項に掲載します。

XⅣ 不測の事態が発生した場合の諸連絡について

不測の事態により、試験日程や選抜内容など要項の内容に変更が生じた場合は、本学ホームページ等でお知らせしますので、出願前や受験前は特にご注意ください。

- ・ ホームページアドレスは <https://www.fpu.ac.jp> です。



【永平寺キャンパス】 Eihei-ji campus

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL:0776-61-6000(代)
FAX:0776-61-6012

■map&access

- 京福バス
 - ・京福バス福井駅西口バスターミナル
 - 大学病院線「県立大学」下車(所要時間約40分)
- 乗用車
 - ・福井駅より約20分
 - ・北陸自動車道 福井北I.C.より約10分

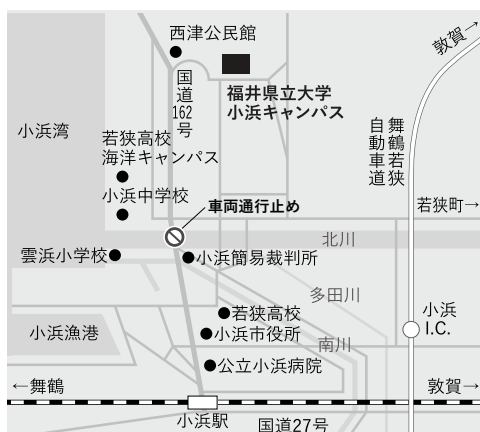


【あわらキャンパス】 Awara campus

〒910-4103 福井県あわら市二面88-1
TEL:0776-77-1443(代)
FAX:0776-77-1448

■map&access

- 乗用車
 - ・芦原温泉駅より約15分
 - ・北陸自動車道 金津I.C.より約15分



【小浜キャンパス】 Obama campus

〒917-0003 福井県小浜市学園町1-1
TEL:0770-52-6300(代)
FAX:0770-52-6003

■map&access

- コミュニティバス
 - ・小浜駅よりあいあいバスで約10分、
 - 「西津公民館前」下車徒歩15分
- 乗用車
 - ・小浜駅より約10分
 - ・舞鶴若狭自動車道 小浜I.C.より約5分

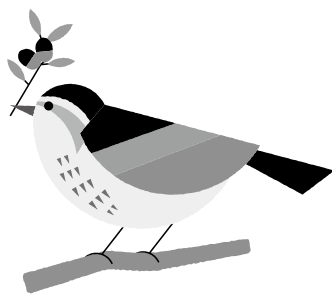


【かつみキャンパス】 Katsumi campus

〒917-0116 福井県小浜市堅海49-8-2
TEL:0770-52-7305(代)
FAX:0770-52-7306

■map&access

- コミュニティバス
 - ・小浜駅よりあいあいバスで約20分、
 - 「堅海」下車
- 乗用車
 - ・小浜駅より約20分
 - ・舞鶴若狭自動車道 小浜I.C.より約20分



問い合わせ・事前相談先

福井県立大学 入学試験本部（入試企画室）

〒910-1195

福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

Tel 0776-68-8297

Fax 0776-61-6012

Eメール nyusi@fpu.ac.jp

電話受付時間：午前9時～午後5時

（土曜・日曜・祝日、年末年始を除く）